

2023年度第2四半期 決算報告書

プレスリリース
2023年7月27日、パリ発



力強い自律的成長

多角的なビジネスモデルの強みが営業収益の増加に貢献

ホールセールバンキング部門 (-0.7%¹)

コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門² (+3.5%¹)

インベストメント&プロテクションサービス部門 (+0.8%¹)

営業収益: 前年同期比+3.3%

営業費用: 前年同期比+1.0%

一時項目を除く³

リスク費用は低水準

リスク費用: 31ベースポイント⁴

財務構造は盤石

普通株式等Tier 1比率⁵: 13.6%

利益は大幅に増加

2023年度第2四半期純利益: 前年同期比+16.4%

(一時項目を除く³)

(2023年度第2四半期純利益 (公表額): 2,810百万ユーロ (同四半期において大きなマイナスの一時項目 (-723百万ユーロ) を計上))

自律的成長がBank of the Westの売却による影響を相殺

2023年度の分配可能純利益において成長軌道を確認

2023年度第2四半期分配可能純利益⁶: 3,260百万ユーロ

2023年度上半期分配可能EPS⁷: 4.72ユーロ (前年同期比+16.8%)

自己株式取得プログラムの2つ目のトランシェ (2.5十億ユーロ) が承認され、
8月初旬に実行開始

1. 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く; 2. コマーシャル&個人向けバンキング事業のプライベートバンキングの100%を含む (フランスのPEL/CELの影響を除く); 3. 一時項目 (うち、特別損益項目) および非継続事業の純利益 (2023年2月1日のBank of the Westの売却) (IFRS第5号に基づき、2022年度第2四半期は+136百万ユーロ) を除く; 4. リスク費用÷顧客向け融資期首残高 (単位: ベースポイント); 5. 資本要求指令5 (CRD5)。国際財務報告基準 (IFRS) 第9号経過規定を含む; 6. 2023年度第2四半期の分配可能純利益については、2023年度第2四半期決算資料のスライド45に記載; 7. 2023年度上半期の分配可能利益に基づき算出した1株当たり利益



BNP PARIBAS

The bank
for a changing
world



本プレスリリースに含まれる数値は、未監査の数値です。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について（i）2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、（ii）2023年1月1日付でのIFRS第17号（保険契約）の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、（iii）2022年1月1日付でのトルコに対する国際会計基準（IAS）第29号（超インフレ経済下における財務報告）の適用、ならびに（iv）グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものととして修正再表示されています。本プレスリリースに記載されている2022年度の四半期の数値は修正再表示後のものです。

本プレスリリースには、将来の事象に関する現在の見解および見通しに基づいた予測的な記述が含まれています。予測的な記述には、財務上の予測や見積りおよびその基礎となる仮定、将来の事象、事業活動、商品およびサービスに関連する計画、目標および見通しに関する記述、ならびに将来の業績およびシナジーに関する記述があります。予測的な記述は将来の業績を保証するものではなく、BNPパリバとその子会社および出資先企業にまつわる固有リスク、不確実性および仮定によって左右されるものです。さらには、BNPパリバとその子会社の事業展開、銀行業界のトレンド、将来の設備投資および買収、グローバルまたはBNPパリバの主要地域市場における経済状況の変化（世界的には特に新型コロナウイルスのパンデミック関連）、市場競争ならびに規制といった要因にも左右されます。これらの事象はいずれも不確実なものであり、現在の見通しとは異なる結果と、ひいては現在の見通しとは大きく異なる業績をもたらす可能性があります。実際の業績は、予測的な記述において見積りまたは示唆されたものとは大きく異なる可能性があります。本プレスリリースに含まれるいかなる予測的な記述も本プレスリリース発行日現在の予測です。

BNPパリバは、新たな情報や将来の事象によって、予測的な記述を公に修正または更新する責任を負いません。これに関連して、「監督上の検証・評価プロセス（Supervisory Review and Evaluation Process：SREP）」は欧州中央銀行（ECB）により毎年実施されますが、BNPパリバ・グループが満たすべき所要資本比率は毎年修正される可能性があることに留意が必要です。

本プレスリリースに含まれるBNPパリバ以外の第三者に関わる情報または外部の情報源から入手した情報は、その真実たることを独自に確認したものではありません。ここに記載の情報や意見に関して、表明または保証を明示あるいは示唆してはならず、またその公正性、正確性、完全性または正当性に依拠することはできません。BNPパリバまたはその代表者ともに、いかなる過失に対しても責任を負わず、また本プレスリリースもしくはその内容の使用により生ずる、または本プレスリリースやここに記載の情報や資料に関連して生じる、いかなる損失に対しても責任を負いません。

表中および分析において掲載された数値は四捨五入のため、内訳の合計と総数に若干の差異が生じる場合があります。



BNPパリバの取締役会が2023年7月26日に開催され、ジャン・ルミエール会長が議長を務めるなか、当グループの2023年度第2四半期の業績が検討されました。

今回の決算を踏まえ、ジャン＝ローラン・ボナフェCEO（最高経営責任者）は取締役会の最後に、以下のよう
に述べました。

「BNPパリバは、第2四半期において極めて高い業績を達成しました。これは、当グループの多角的なビジネスモデルの堅固性、当グループのプラットフォームの効率性、および景気循環のあらゆる局面において個人・法人・機関投資家のお客様のニーズに対応するために発展を追求する当グループの能力を反映しています。

当グループは、戦略プラン『Growth, Technology & Sustainability 2025』に基づき、欧州経済に貢献する先進的なプラットフォームの開発、技術進歩の追求、およびより持続可能なモデルへの移行を目指す顧客の支援を引き続き行っています。したがって、第2四半期には、エネルギー移行に対する当グループのコミットメントがさらに強化され、これにより経済および顧客の移行にこれまで以上に積極的に貢献できるようになりました。

当グループは、すべてのチームのコミットメントに謝意を表し、それらとともに、お客様にサービスを提供し、そのプロジェクト開発を長期にわたり支援し続けるという軌道に注力しています。」

*
* *

堅調な業績

BNPパリバは多角的かつ統合的なビジネスモデルを備えており、チーム、資源および能力を結集して顧客に寄り添い経済とともに歩む力を包括的に擁しているため、2023年度第2四半期においても引き続き事業活動と純利益を力強く伸ばすことができました。

多角的なビジネスモデルの強みに牽引され、営業収益は前年同期比3.3%増、営業費用は前年同期比1.0%増となりました（ただし、当四半期において大幅なマイナスとなった一時項目¹を除く）。営業費用は十分に抑制され、これにより、当グループはプラスのジョーズ効果を達成しました。長期的アプローチおよび慎重かつ積極的なリスク管理により、リスク費用は低水準（顧客向け融資残高の31ベースポイント相当）にとどまり、『Growth, Technology & Sustainability 2025』プランの指針である40ベースポイントを下回りました。

当グループの純利益は、一時項目¹を除くと、前年同期比16.4%増²となりました。2023年度第2四半期における当グループの自律的成長が、Bank of the Westの売却による影響を相殺しました。

株主への分配額の算出の基礎となる分配可能純利益³は、2023年度第2四半期において3,260百万ユーロとなり、2023年度上半期の1株当たり純利益は4.72ユーロ（前年同期比16.8%増）となりました。

これらの業績は、当グループの強固な本源的業績を反映しており、『Growth, Technology & Sustainability 2025』プランの目標達成に向けた強固な基盤となっています。

¹ 一時項目のうち、特別損益項目。2023年度第2四半期決算資料のスライド4を参照

² 非継続事業の純利益（2023年2月1日のBank of the Westの売却）（IFRS第5号に基づき、2022年度第2四半期は136百万ユーロ）を除く。この利益を2022年度第2四半期に含めると11.4%

³ 分配可能純利益（2023年度第2四半期は3,260百万ユーロ）は、2023年2月に行われた発表に基づき調整されている。すなわち、純利益（公表額）から一時項目（2023年度第2四半期において、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整によるマイナス影響（-430百万ユーロ））を除き、かつ補完的調整（税引前利益+20百万ユーロ）を行う。2023年度第2四半期決算資料のスライド45を参照



当グループは、社会との関わりを深める方針を強化しています。当グループは、包括的なアプローチを採用し、顧客とともに、2050年までのカーボンニュートラル経済の実現に貢献するという明確な意欲および目標を掲げ、持続可能な低炭素経済への移行に取り組んでいます。特に、当グループは、2023年5月に気候報告書を公表し、ポートフォリオにおいてカーボンニュートラルを達成するという目標に基づき、国際エネルギー機関の「2050年までのネットゼロ」シナリオに合わせて、最も排出量が多いセクターのローンポートフォリオを調整するために実施した措置を詳述しています¹。当グループの資金調達力は認められています。例えば、BNPパリバは、2023年度第2四半期において、グリーンボンド発行額で世界首位となり、サステナブル・ファイナンスにおいてグローバル・リーダーとなりました²。また、BNPパリバは、ユーロマネー誌により「サステナブル・ファイナンスにおける世界最優秀銀行（World's Best Bank for Sustainable Finance）」に3年連続で選ばれています。

グループ全体の当四半期の営業収益は、11,363百万ユーロ（前年同期は11,536百万ユーロ）でした。これには、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響（-430百万ユーロ）（2023年度第2四半期の分配可能純利益から除外）および訴訟引当金による一時的影響（-125百万ユーロ）が含まれていました。これらの影響を除くと、営業収益は前年同期比3.3%増でした。

事業部門の当四半期の営業収益は、前年同期比0.7%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.5%）でした。ホールセールバンキング（CIB）部門の営業収益は、2.3%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.7%）となり、多角的なビジネスモデルの恩恵を受けました。非常に堅調な事業活動に牽引され、グローバル・バンキング事業の営業収益は、大幅な増収（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+17.5%、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+15.0%）でした。証券管理事業の営業収益は、引き続き増加しました（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.6%、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-0.3%）。グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引のさらなる正常化により、高水準であった前年同期比では、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと11.7%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-12.7%）でした。コマース&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門の営業収益³は、コマース&個人向けバンキング事業における伸び（+1.8%³）および専門的金融事業（特にアルバルとリーシング・ソリューションズ（前四半期比+17.1%および同+6.6%））における大幅な増加（+5.8%³）により、3.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.5%）となりました。パーソナル・ファイナンスおよび欧州・地中海沿岸諸国においては、あまり有利な事業環境ではありませんでした。最後に、インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門の営業収益は、0.3%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.8%）でした。これは、保険事業（+8.7%）およびウェルス・マネジメント事業（+6.6%）における大幅な増収が、不動産管理事業における低調な事業環境により相殺されたことによるものでした。

グループ全体の当四半期の営業費用は、6,889百万ユーロ（前年同期は6,779百万ユーロ）でした。当四半期の営業費用には、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用（57百万ユーロ）およびIT強化費用（94百万ユーロ）による合計151百万ユーロ（前年同期は106百万ユーロ）が含まれていました。これらの一時項目による影響を除くと、営業費用は1.0%増加しました。これにより、当グループは、2.3ポイントのプラスのジョーズ効果を達成しました。

事業部門の当四半期の営業費用は、前年同期比で横ばい（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.8%）でした。ジョーズ効果はプラス（+0.7ポイント）でした。CIB部門の営業費用は、1.1%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.6%）で、グローバル・マーケット事業の営業費用は減少し、グローバル・バンキング事業のジョーズ効果は極めて高水準でした。CPBS部門の営業費用は、0.3%の微増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.6%³）でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+3.0ポイント³）でした。コマース&個人向けバンキング事業の営業費用は1.7%減³、ジョーズ効果はプラス（+3.5ポイント³）で、専門的金融事業の営業費用は4.5%増³、ジョーズ効果はプラス（+1.3ポイント³）でした。最後に、IPS部門の営業費用は、2.0%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.2%）でした。

¹ 2023年5月に公表された当グループの気候報告書を参照

² 出所: Dealogic社、All ESG Fixed Income, Global & EMEA Sustainable Financing (ESG Bonds and Loans)、ブックランナー（取引高ベース）、2023年度第1四半期

³ プライベートバンキングの100%を含む（PEL/CELの影響を除く）



以上から、グループ全体の営業総利益は、当四半期において**4,474**百万ユーロとなりました。前年同期は**4,757**百万ユーロでした。一時項目¹による影響を除くと、**6.5%**増でした。

グループ全体のリスク費用は、当四半期において**689**百万ユーロとなり、前年同期比**69**百万ユーロの削減でした。リスク費用は、顧客向け融資残高の**31**ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。これには、不良債権（ステージ**3**）に対する低水準の引当金（特定案件の影響にもかかわらず、パーソナル・ファイナンスにおける不良債権のリスク費用を除くと**390**百万ユーロ）および正常債権（ステージ**1**および**2**）に対する引当金の緩やかな戻入が含まれています。当四半期のリスク費用には、ポーランドに対する引当金の一時的影響（**80**百万ユーロ）が含まれています。

グループ全体の営業利益は、当四半期において**3,785**百万ユーロとなりました。前年同期は**3,999**百万ユーロでした。一時項目¹による影響を除くと、**11.3%**増でした。

グループ全体の営業外項目は、当四半期において**273**百万ユーロの利益（前年同期は**201**百万ユーロの利益）となりました。

グループ全体の税引前利益は、当四半期において**4,058**百万ユーロとなりました。前年同期は**4,200**百万ユーロでした。一時項目¹による影響を除くと、**12.5%**増でした。

法人税率は平均で**27.6%**（前年同期は**28.6%**）でした。

当グループは、**2023年2月1日**にBank of the Westの売却を完了しました。**2021年12月20日**に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産および負債のグループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当します。IFRS第5号に従い、**2022年度第2四半期**における非継続事業の純利益は、**136**百万ユーロとなりました。

以上から、当グループの純利益は、当四半期において**2,810**百万ユーロとなりました。前年同期は**3,093**百万ユーロ（非継続事業の純利益を除くと、**2,957**百万ユーロ）でした。一時項目¹による影響を除くと、**16.4%**増でした。

2023年2月の発表に従い、当四半期における当グループの純利益は、分配可能純利益を算出するための調整が行われています。これは、Bank of the Westの売却後、および単一破綻処理基金の増額への拠出の終了後の、当グループの堅調な本源的業績を反映しています。その結果、営業収益および営業費用の調整後、当四半期における当グループの分配可能純利益は、**3,260**百万ユーロとなりました。分配可能純利益を算出するために調整した営業収益は、当四半期において、**2022年度第4四半期**に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響の修正（**430**百万ユーロ）および追加調整（**+15**百万ユーロ）の結果、**11,808**百万ユーロとなりました。分配可能純利益を算出するために調整した営業費用は、単一破綻処理基金への拠出に伴う**5**百万ユーロの調整を加味すると、**6,884**百万ユーロとなりました。当四半期において、その他の調整はありませんでした。

2023年6月30日現在、普通株式等Tier1比率は**13.6%**²でした。流動性カバレッジ比率（期末）は、**2023年6月30日**現在、**143%**（**2023年3月31日**現在は**139%**）でした。当グループの即時利用可能な余剰資金は**473**十億ユーロに上り、これは資金調達との関係で**1**年超の余裕資金があることを意味しています。レバレッジ比率³は**4.5%**でした。

1株当たり有形純資産額⁴は**83.8**ユーロで、**2008年12月31日**からの年平均成長率は**6.9%**に相当し、当グループが景気循環を通じて企業価値を着実に創造する能力を備えていることを証明しています。

¹ 特別損益項目を含む

² CRD5。IFRS第9号経過規定を含む

³ 規則（EU）2019/876に従って算定

⁴ 再評価後



2023年度上半期において、グループ全体の営業収益は23,395百万ユーロとなり、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴う一時的なマイナス影響(-833百万ユーロ)および訴訟引当金による一時的影響(-125百万ユーロ)があったものの、前年同期(23,404百万ユーロ)比で横ばいでした。これらの影響を除くと、営業収益は前年同期比4.1%増でした。

事業部門の営業収益は、前年同期比2.6%増でした。CIB部門の営業収益は、1.1%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.8%)となりました。これには、グローバル・バンキング事業の大幅な増収(+15.3%)および証券管理事業の増収(+3.1%)が貢献しました。グローバル・マーケット事業の営業収益は、顧客取引のさらなる正常化により、6.6%減でした。CPBS部門の営業収益¹は、コマース&個人向けバンキング事業における伸び(+4.2%¹)および専門的金融事業における増収(+5.1%¹)により、4.6%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+4.8%)となりました。IPS部門の営業収益は、0.5%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.5%)でした。これは、保険事業(+7.8%)およびウェルス・マネジメント事業(+8.6%)における大幅な増収が、不動産管理事業における低調な事業環境の影響により相殺されたことによるものでした。

グループ全体の当上半期の営業費用は16,080百万ユーロとなり、前年同期比3.5%増でした。当上半期の営業費用には、一時項目による影響として、パーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般(236百万ユーロ)、事業再編費用と事業適応費用(87百万ユーロ)およびIT強化費用(188百万ユーロ)による合計512百万ユーロ(前年同期は177百万ユーロ)が含まれていました。これらの一時項目²による影響を除くと、営業費用は1.4%増加しました。これにより、当グループは、2.7ポイントの極めて高水準のジョーズ効果を達成しました。

営業費用には、IFRIC第21号「賦課金」に従い、当年度に計上される税金・拠出金1,638百万ユーロ(前年同期は1,818百万ユーロ)が反映されています。

事業部門の当上半期の営業費用は、前年同期比2.2%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.7%)でした。ジョーズ効果はプラスでした。CIB部門の営業費用は、1.4%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.2%)で、グローバル・マーケット事業の営業費用は減少し、グローバル・バンキング事業のジョーズ効果は極めて高水準でした。CPBS部門の営業費用¹は、2.6%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.9%¹)でした。ジョーズ効果は極めて高水準(+1.9ポイント¹)でした。コマース&個人向けバンキング事業の営業費用は1.0%増¹、ジョーズ効果は極めて高水準(+3.2ポイント¹)で、専門的金融事業の営業費用は、事業開発および目標を絞ったプロジェクトにより、6.3%増¹でした。最後に、IPS部門の営業費用は、3.7%増(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+3.6%)でした。

以上から、グループ全体の営業総利益は、当上半期において7,315百万ユーロとなりました。前年同期は7,871百万ユーロでした。一時項目²による影響を除くと、9.2%増でした。

グループ全体のリスク費用は、当上半期において1,331百万ユーロ(前年同期は1,409百万ユーロ)でした。当上半期のリスク費用には、ポーランドに対する引当金の一時的影響(130百万ユーロ)が含まれています。リスク費用は、顧客向け融資残高の30ベースポイント相当で、まだ低水準にとどまっています。これは、当上半期における正常債権に対する引当金の戻入(190百万ユーロ)を反映しています。

グループ全体の営業利益は、当上半期において5,984百万ユーロとなりました。前年同期は6,462百万ユーロでした。一時項目²による影響を除くと、14.2%増でした。

グループ全体の営業外項目は、当上半期において451百万ユーロの利益(前年同期は363百万ユーロの利益)となりました。前年同期の営業外項目には、bpost bankの負のれんから生じたプラス影響(+244百万ユーロ)および譲渡益(+204百万ユーロ)が含まれていましたが、Ukrsibbank株式の減損(-159百万ユーロ)および為替換算差額の純損益への分類変更に伴うマイナス影響(-274百万ユーロ)により相殺されました。

グループ全体の税引前利益は、当上半期において6,435百万ユーロとなりました。前年同期は6,825百万ユーロでした。一時項目²による影響を除くと、15.0%増でした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む(PEL/CELの影響を除く)

² 特別損益項目を含む



法人税率は平均で**30.6%**（前年同期は**33.2%**）でした。これは特に、IFRIC第21号「賦課金」により当年度の税金・拠出金が第1四半期に計上され、その大半は税控除できないことによるものです。

当グループは、**2023年2月1日**にBank of the Westの売却を完了しました。**2021年12月20日**に発表された当該取引の条件は、売却目的で保有する資産および負債のグループに関してIFRS第5号の適用範囲に該当します。IFRS第5号に従い、当上半期における非継続事業の純利益は、**2,947**百万ユーロとなりましたが、これは、Bank of the Westの売却による譲渡益を反映しており、特別損益項目として扱われています。かかる利益は、前年同期は**365**百万ユーロでした。

以上から、当グループの純利益は、当上半期において**7,245**百万ユーロ（非継続事業の純利益を除くと、**4,298**百万ユーロ）となりました。前年同期は**4,933**百万ユーロ（売買目的保有事業の純利益を除くと、**4,568**百万ユーロ）でした。一時項目¹による影響を除き、かつ非継続事業の純利益を除くと、当グループの純利益は、前年同期比**22.5%**増となりました。

2023年2月の発表に従い、当上半期における当グループの純利益は、分配可能純利益を算出するための調整が行われています。これは、Bank of the Westの売却後、および単一破綻処理基金の増額への拠出の終了後の、当グループの堅調な本源的業績を反映しています。その結果、当上半期の分配可能純利益は、**6,105**百万ユーロとなりました。

有形自己資本利益率（再評価前）は、年率**13.6%**となりました。これは、当グループの堅実な業績を反映しており、多角的かつ統合的なビジネスモデルの強みが貢献しました。

¹ 特別損益項目を含む



ホールセールバンキング (CIB) 部門

CIB部門は、多角的かつ統合的なビジネスモデルを強みとして顧客および経済にサービスを提供し、EMEA地域においてトップ3にランクインしており、世界市場シェア¹は2018年以降26%拡大しています。市場シェアは、グローバル・バンキング事業 (+19%) およびグローバル・マーケット事業 (+28%) の双方で拡大しました。

したがって、CIB部門の事業活動は、全体的に非常に堅調でした。ファイナンス事業における顧客取引は、3つの地域すべてにおいて非常に好調でした。金利市場および為替市場では環境が正常化し、クレジット市場では需要が大幅に増加しました。株式における取引は、当四半期はあまり活発ではありませんでした。証券管理事業の事業活動は、引き続き堅調でした。

CIB部門は、シンジケートローン、債券発行²およびトランザクションバンキング業務（キャッシュマネジメントおよびトレードファイナンス³）において、欧州のリーダーであることを確認しました。また、CIB部門は、サステナブル・ファイナンス²の分野において世界および欧州のリーダーであり、マルチディーラー電子取引プラットフォームの分野のリーダーでもあります。

CIB部門の営業収益は、当四半期において3,998百万ユーロとなり、前年同期比2.3%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-0.7%）でした。これは、グローバル・バンキング事業が非常に堅調な伸びを示し (+17.5%⁴)、グローバル・マーケット事業の回復力が好調で（非常に高水準であった前年同期比-11.7%⁴）、証券管理事業の業績も好調に推移したこと (+1.6%⁴) が寄与しました。

グローバル・バンキング事業は、特にEMEA地域の債券市場において、取引高が前年同期比で98%増加する等、非常に好調な業績を達成しました⁵。トランザクションバンキング業務は、3つの地域すべてにおいて非常に好調でした。融資残高⁶は179十億ユーロで、前年同期比2.2%増となりました。預金残高⁶は209十億ユーロで、前年同期比6.3%増となりました。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当四半期において1,425百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比17.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと+15.0%）でした。営業収益は、3つの地域すべてにおいて増加しました。トランザクションバンキング業務の営業収益は、特にEMEA地域において大幅に増加し (+75.6%)、キャピタルマーケット事業のプラットフォームにおける取引は、特に米州およびEMEA地域において大幅に拡大しました。

グローバル・マーケット事業は、引き続き市場シェアを拡大しましたが、あまり活況とは言えない環境でした。顧客取引は全体的にさらに正常化しました。クレジット市場では、特にEMEA地域において取引全般が大幅に増加しました。グローバル・マーケット事業は、ユーロ建て債券発行およびグリーンボンド発行において、市場シェアを拡大し、世界的なリーダーとしての地位を確立しました²。顧客の取引需要は、金利、為替およびコモディティ市場において鈍化しましたが、高水準であった2022年度と比較して、特に金利および為替において鈍化しました。最後に、当四半期において、顧客取引は株式市場において減少しました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、当四半期において1,913百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比11.7%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-12.7%）でした。FICC事業⁷の営業収益は、当四半期において1,126百万ユーロとなり、前年同期比18.4%減でした。クレジット業務は非常に好調であったものの、高水準であった前年同期と比較して金利、為替およびコモディティ市場における取引がさらに正常化したことにより、相殺されました。株式・プライムサービス事業の営業収益は787百万ユーロとなり、顧客取引の低迷を受けて、3.0%減少しました。

¹ 出所: BNPパリバの営業収益は公表通り。Coalition Greenwich Competitor Analyticsは、BNPパリバの商品範囲に基づく。市場シェアは、BNPパリバの営業収益（公表額）を業界プールで除して算出されている。ランキングはCoalition Index上位12行に基づく。
EMEA: 欧州、中東、アフリカ

² 出所: Dealogic社、2023年6月30日時点、ブックランナー（取引高ベースでの市場シェア）

³ 出所: Coalition Greenwich Share Leader、2022 Europe Large Corporate（トレードファイナンス）、2022 Europe Large Corporate（キャッシュマネジメント）

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁵ 出所: Dealogic社、DCMブックランナー（取引高）：EMEA地域におけるBNPパリバ主幹事の債券発行の推移（2023年度第2四半期対2022年度第2四半期）

⁶ 平均残高（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く）

⁷ Fixed Income, Currency, and Commodities（債券、為替、コモディティ）



市場リスクの尺度であるバリュー・アット・リスク（VaR。保有期間1日、信頼区間99%）は、低水準で推移し、前四半期を下回りました。当四半期は31百万ユーロと低水準でした。

証券管理事業は、特にプライベートキャピタルにおいて、持続的な販売・マーケティング開発を実現し、新規の最上位マンドートを獲得しました。預かり資産平均残高は、前年同期比で2.8%増加し、取引高は35百万件となり、高水準であった前年同期比8.4%減でした。

証券管理事業の営業収益は、当四半期において661百万ユーロとなり、連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと前年同期比1.6%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を含むと-0.3%）でした。その要因は、金利環境による好影響および預かり資産残高の増加でしたが、低調な市場環境における取引高の減少の影響により相殺されました。

CIB部門の営業費用は、当四半期において2,275百万ユーロとなり、前年同期比1.1%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.6%）でした。グローバル・マーケット事業の費用は、取引の正常化を背景に減少しました。グローバル・バンキング事業のジョーズ効果は極めて高水準でした。

CIB部門の営業総利益は、当四半期において1,723百万ユーロとなり、前年同期比3.9%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-2.5%）でした。

CIB部門では、当四半期において78百万ユーロの引当金戻入（前年同期は76百万ユーロの引当金繰入）が行われました。グローバル・バンキング事業では、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入および不良債権（ステージ3）に対する極めて低水準のリスク費用により、85百万ユーロの引当金戻入が行われました。リスク費用は、顧客向け融資残高の-19ベースポイント相当となりました。

以上から、CIB部門の税引前利益は、当四半期において1,806百万ユーロに達し、前年同期比4.7%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+6.2%）となりました。

2023年度上半期において、CIB部門の営業収益は8,871百万ユーロとなり、前年同期比1.1%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.8%）でした。これは、グローバル・バンキング事業（+15.3%）および証券管理事業（+3.1%）における増収によるものでした。グローバル・マーケット事業の営業収益は、高水準であった前年同期比6.6%減でした。

グローバル・バンキング事業の営業収益は、当上半期において2,879百万ユーロとなり、前年同期比15.3%増で、トランザクションバンキング業務（特にEMEA地域）およびキャピタルマーケット事業において大幅な増収でした。グローバル・バンキング事業は、特にEMEA地域において、引き続き市場シェアを拡大しました。

グローバル・マーケット事業の営業収益は、当上半期において4,676百万ユーロとなり、非常に高水準であった前年同期比6.6%減でした。FICC事業¹の営業収益は、当上半期において3,032百万ユーロとなり、前年同期比3.1%減でした。これは、当四半期において市場環境がさらに正常化したため、特に金利・為替商品およびコモディティデリバティブにおいて顕著でした。株式・プライムサービス事業の営業収益は1,644百万ユーロとなり、特に前四半期における株式市場の低迷を受けて、12.4%減少しました。

証券管理事業の営業収益は、当上半期において1,315百万ユーロとなり、前年同期比3.1%増でした。その要因は、高金利環境による好影響でしたが、前年同期と比較して取引高および預かり資産残高が減少した影響により一部相殺されました。

CIB部門の営業費用は、当上半期において5,715百万ユーロとなり、前年同期比1.4%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+2.2%）でした。これは、特に前四半期における事業開発支援によるものでした。グローバル・マーケット事業の営業費用は、取引の正常化を背景に減少しました。最後に、グローバル・バンキング事業のジョーズ効果は極めて高水準でした。

これらを受けて、CIB部門の営業総利益は、当上半期において3,156百万ユーロとなり、前年同期比0.5%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+1.0%）でした。

¹ Fixed Income, Currency, and commodities（債券、為替、コモディティ）



CIB部門では、当上半期において77百万ユーロの引当金戻入（前年同期は78百万ユーロの引当金繰入）が行われました。グローバル・バンキング事業では、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入および不良債権（ステージ3）に対する極めて低水準のリスク費用により、86百万ユーロの引当金戻入が行われました。リスク費用は、顧客向け融資残高の-10ベースポイント相当となりました。

以上から、CIB部門の税引前利益は、当上半期において3,235百万ユーロに達し、前年同期比5.1%増（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+5.9%）となりました。

*

* *



コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門

CPBS部門は、高水準の純利益を達成し、ジョーズ効果も極めて高水準でした。融資残高は、前年同期比3.6%増(2021年度第2四半期比+10.4%)で、ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業および専門的金融事業の双方で増加しました。アルバルのファイナンスフリートの契約台数は大幅に増加しました(2022年6月30日現在と比較して+9.5%¹)。預金残高は、前年同期比1.4%減でしたが、2021年度第2四半期比では6.0%増でした。最後に、プライベートバンキングへの当四半期の資金純流入は旺盛で、約5.1十億ユーロに達しました。

営業収益²は、当四半期において6,782百万ユーロとなり、前年同期比3.3%増でした。その要因は、ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業の増加(+2.6%)、正味利息収益の増加(+4.7%)および専門的金融事業の営業収益の増加(+5.8%)でした。

営業費用²は、当四半期において3,776百万ユーロとなり、前年同期比0.3%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準(+3.0ポイント)で、コマーシャル&個人向けバンキング事業(+3.5ポイント)およびアルバルとリーシング・ソリューションズ(+12.1ポイント)に牽引されました。

営業総利益²は、当四半期において3,006百万ユーロとなり、前年同期比7.4%増の大幅な増益でした。

リスク費用²は、当四半期において733百万ユーロ(前年同期は614百万ユーロ)でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBS部門の税引前利益³は、当四半期において2,283百万ユーロとなり、前年同期比0.4%減の微減(連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと+0.7%)でした。

2023年度上半期において、営業収益²は、13,448百万ユーロとなり、前年同期比4.6%増でした。その要因は、コマーシャル&個人向けバンキング事業の好調な業績およびアルバルの非常に力強い伸びでした。営業費用²は、コスト節減策により抑制され、前年同期比2.6%増の8,361百万ユーロでした。ジョーズ効果は極めて高水準(+1.9ポイント)で、コマーシャル&個人向けバンキング事業のジョーズ効果(+3.2ポイント)が貢献しました。これらを受けて、営業総利益²は、5,087百万ユーロとなり、前年同期比7.9%増の大幅な増益でした。リスク費用²は、1,383百万ユーロ(前年同期は1,210百万ユーロ)でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBS部門の税引前利益³は、当上半期において3,751百万ユーロに達し、前年同期比2.6%増でした。これは、当上半期におけるトルコのハイパーインフレ⁴の影響による99百万ユーロのマイナス影響を認識したものです。

¹ 期末におけるフリート契約台数の増加(千台)。Terberg Business LeaseおよびBCRの買収による影響を除くと+6.7%

² プライベートバンキングの100%を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く)

³ プライベートバンキングの3分の2を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く)

⁴ トルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジ効率の影響



フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF)

CPBFの当四半期の業績は良好で、ジョーズ効果はプラスとなりました。事業活動には、有利な商業上のポジションが貢献しました。融資残高は、前年同期比1.8%増となり、すべての顧客セグメントで増加しました。金利調整は引き続き行われ、住宅ローンでは選択性が維持されました。預金残高は、前年同期比2.1%減でした。利鞘は持ちこたえました。定期預金は増加し、当四半期後半には預金残高が増加しました(2023年3月31日現在と比較して+0.5%)。オフバランス貯蓄商品は、2022年6月30日現在と比較して7.1%増でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、2.7十億ユーロと好調でした。

営業収益¹は、当四半期において1,716百万ユーロとなり、前年同期比0.1%増でした。正味利息収益は、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず、利鞘が持ちこたえ、インフレ・ヘッジも貢献し、1.3%増加しました。手数料は、1.3%減少しました。銀行手数料は、決済手数料およびキャッシュマネジメント手数料に支えられ、横ばいでした。

営業費用¹は、当四半期において1,114百万ユーロとなり、前年同期比0.2%減でした。これは、インフレの影響を相殺するコスト節減策によるものでした。ジョーズ効果はプラス(+0.3ポイント)でした。

営業総利益¹は、当四半期において602百万ユーロとなり、前年同期比0.7%増でした。

リスク費用¹は、当四半期において151百万ユーロ(前年同期は64百万ユーロ)でした。当四半期は、特定案件の影響を除くと低水準でした。これは、正常債権(ステージ1および2)に対する引当金の戻入を反映しています。リスク費用は、顧客向け融資残高の26ベースポイント相当でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBFの税引前利益²は、当四半期において406百万ユーロに達し、前年同期比21.5%減でした。これは、特定案件に関連してリスク費用が増加したことによるものでした。

2023年度上半期において、営業収益¹は、3,386百万ユーロとなり、前年同期比2.1%増でした。正味利息収益¹は、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず、利鞘が持ちこたえ、インフレ・ヘッジも貢献したため、前年同期比4.0%増でした。手数料¹は、横ばいでした。銀行手数料(特に決済手数料およびキャッシュマネジメント手数料)の増加は、金融手数料の減少により相殺されました。営業費用¹は、コスト節減策により抑制され、前年同期比1.5%増の2,390百万ユーロでした。ジョーズ効果はプラス(+0.6ポイント)でした。営業総利益¹は、996百万ユーロとなり、前年同期比3.6%増でした。リスク費用¹は、226百万ユーロ(前年同期は157百万ユーロ)となり、顧客向け融資残高の20ベースポイント相当と低水準でした。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBFの税引前利益²は、当上半期において688百万ユーロとなり、前年同期比9.0%減でした。これは、2022年度第2四半期の「営業外項目」が高水準であったこと、および特定案件に関連してリスク費用が増加したことによるものでした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く)(2023年度第2四半期は-3百万ユーロ、2022年度第2四半期は+14百万ユーロ、2023年度上半期は0百万ユーロ、2022年度上半期は+25百万ユーロ)

² プライベートバンキングの3分の2を含む(フランスのPEL/CELの影響を除く)

**BNLバンカ・コメルシアール (BNL bc)**

BNL bcの純利益は当四半期において増加し、リスクプロファイルは引き続き改善しています。融資残高は、前年同期比2.2%減でしたが、不良債権を除くと0.5%減の微減となりました。中長期融資の増加は、法人向け短期融資の減少により相殺されました。預金残高は、前年同期比1.0%減少し、前四半期比では2.4%増加しました。普通預金および定期預金は改善し、利鞘は持ちこたえました。プライベートバンキングへの資金純流入は好調で（0.8十億ユーロ）、法人顧客の事業ラインとのシナジーに支えられました。

営業収益¹は、当四半期において687百万ユーロとなり、前年同期比2.3%増でした。正味利息収益は、金利の継続的な調整と預貸利鞘が持ちこたえたことに支えられ、6.2%増加しましたが、これは特に金融手数料の減少に関連しています。

営業費用¹は、当四半期において428百万ユーロとなり、前年同期比2.8%増加しましたが、増加はコスト削減策の影響により抑制されました。

これらを受けて、営業総利益¹は、当四半期において259百万ユーロとなり、前年同期比1.6%増でした。

リスク費用¹は、当四半期において80百万ユーロとなり、前年同期比29百万ユーロの削減となりました。これは、不良債権（ステージ3）に対する引当金の減少および正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の戻入によるものでした。リスク費用は、顧客向け融資残高の41ベースポイント相当で、歴史的な低水準にとどまりました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益²は、当四半期において171百万ユーロとなり、前年同期比22.6%増の大幅な増益でした。

2023年度上半期において、営業収益¹は、1,362百万ユーロとなり、前年同期比2.8%増でした。正味利息収益¹は、主に金利環境の好影響と預貸利鞘が持ちこたえたことに牽引され、前年同期比4.6%増でした。法人顧客向けのエネルギー移行支援により、法人顧客における営業収益の伸びは顕著でした。手数料¹は、ほぼ横ばい（前年同期比+0.2%）で、銀行手数料の増加により支えられました。営業費用¹は、前年同期比2.5%増の892百万ユーロとなり、インフレの影響を一部相殺する業務効率化対策の効果によって抑制されました。ジョーズ効果はプラスでした（+0.2ポイント）。営業総利益¹は、前年同期比3.2%増の470百万ユーロとなりました。リスク費用¹は、178百万ユーロとなり、前年同期比59百万ユーロの削減となりました。リスク費用は、顧客向け融資残高の45ベースポイント相当で、低水準にとどまりました。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のBNL bcの税引前利益²は、当上半期において277百万ユーロとなり、前年同期比35.5%増の大幅な増益でした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² プライベートバンキングの3分の2を含む



ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBB)

CPBBの当四半期の純利益は増加し、ジョーズ効果はプラスとなりました。事業活動は好調でした。融資残高は、すべての顧客セグメント（特に法人顧客）での貸出の増加により、前年同期比**3.7%**増となりました。預金残高は僅かに減少し（前年同期比**-0.5%**）、前四半期比では僅かに増加しました（**+0.4%**）。個人およびプロフェッショナル顧客の預金残高は増加しました。法人顧客の定期預金が大幅に増加し、利鞘は持ちこたえました。オフバランス貯蓄商品は、ミューチュアル・ファンドに牽引され、**2022年6月30日**現在と比較して**0.9%**増でした。プライベートバンキングへの資金純流入は、好調（**1.2十億ユーロ**）でした。

営業収益¹は、当四半期において**1,006**百万ユーロとなり、前年同期比**4.2%**増でした。正味利息収益は、リファイナンス費用が増加したにもかかわらず、利鞘が持ちこたえ、前年同期比**4.2%**増でした。手数料は、金融手数料の増加に支えられ、前年同期比**4.2%**増でした。

営業費用¹は、当四半期において**568**百万ユーロとなり、インフレの影響を一部相殺するコスト節減策により、増加は抑制されました（前年同期比**+2.7%**）。ジョーズ効果はプラス（**+1.5**ポイント）でした。

営業総利益¹は、当四半期において**438**百万ユーロとなり、前年同期比**6.3%**増の大幅な増益となりました。

リスク費用¹は、当四半期において**19**百万ユーロとなり、顧客向け融資残高の**5**ベースポイント相当と極めて低い水準でした。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益²は、当四半期において**394**百万ユーロとなり、前年同期比**3.9%**増でした。

2023年度上半期において、営業収益¹は、**2,022**百万ユーロとなり、前年同期比**6.4%**増でした。正味利息収益¹は、利鞘が持ちこたえ、**9.7%**増と大幅に増加しました。手数料¹は、**1.0%**減でした。金融手数料の増加は、高水準であった前年同期比での銀行手数料の減少により相殺されました。営業費用¹は、**1,514**百万ユーロとなり増加しましたが（前年同期比**+3.8%**）、インフレの影響を一部相殺するコスト節減策により、増加は抑制されました。ジョーズ効果は極めて高水準でした（**+2.6**ポイント）。これらを受けて、営業総利益¹は、**508**百万ユーロとなり、**15.0%**増の大幅な増益でした。リスク費用¹は、**28**百万ユーロと低水準にとどまりました。前年同期には、**1**百万ユーロの引当金の戻入がありました。リスク費用¹は、顧客向け融資残高の**4**ベースポイント相当となりました。以上から、ベルギー国内プライベートバンキング業務の純利益の**3分の1**をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のCPBBの税引前利益²は、当上半期に**446**百万ユーロに達し、前年同期比**5.9%**増の大幅な増益となりました。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² プライベートバンキングの3分の2を含む



ルクセンブルクの商業&個人向けバンキング (CPBL)

CPBLの当四半期の純利益は大幅に増加しました。融資残高は、法人向け貸出および住宅ローンの増加により、前年同期比1.3%増となりました。預金残高は、前年同期比7.2%減となりました。

営業収益¹は、当四半期において145百万ユーロとなり、前年同期比27.4%増でした。正味利息収益は、融資残高が増加したことに加え、特に法人顧客の預貸利鞘が持ちこたえたことにより、前年同期比35.1%増と大幅に増加しました。手数料は、前年同期比2.1%減でした。

営業費用¹は、当四半期において69百万ユーロとなり、事業開発に関連して、前年同期比5.5%増でした。ジョーズ効果は非常に高水準(+21.9ポイント)でした。

営業総利益¹は、当四半期において75百万ユーロとなり、前年同期比57.3%増と大幅な増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において1百万ユーロと極めて低い水準でした(前年同期は3百万ユーロの戻入)。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBLの税引前利益²は、当四半期において73百万ユーロ(前年同期は49百万ユーロ)に達し、前年同期比48.5%増と大幅に増加しました。

2023年度上半期において、営業収益¹は、前年同期比27.0%増と大幅に増加し、290百万ユーロとなりました。正味利息収益¹は、融資残高が増加したことに加え、特に法人顧客の預貸利鞘が持ちこたえたことにより、前年同期比35.7%増と大幅に増加しました。手数料¹は、前年同期比3.8%減でした。営業費用¹は、157百万ユーロとなり、前年同期比7.6%増でした。ジョーズ効果は非常に高水準(+19.4ポイント)でした。リスク費用¹は、2百万ユーロと極めて低い水準でした(前年同期は8百万ユーロの戻入)。以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業(IPS部門)へ配分した後のCPBLの税引前利益²は、当上半期において128百万ユーロ(前年同期は89百万ユーロ)に達し、前年同期比43.4%増と大幅に増加しました。

欧州・地中海沿岸諸国

欧州・地中海沿岸諸国の事業の回復は良好でした。ポーランドを中心に法人顧客向け貸出が増加しました。融資組成は、特にトルコにおいて、またポーランドの個人顧客向けに慎重かつ的を絞ったものでした。融資残高は、前年同期比0.6%減³でした。預金残高は、前年同期比6.1%増³で、ポーランドにおいて増加しました。

欧州・地中海沿岸諸国の営業収益¹は、当四半期において603百万ユーロとなり、前年同期比0.1%増⁴でした。これは、特にポーランドにおいて、正味利息収益が増加したことにより起因していますが、トルコリラの下落の影響により相殺されました。

営業費用¹は、当四半期において344百万ユーロとなり、拠出金の一時的増加により高水準であった前年同期比では13.8%減⁴でした。この影響を除くと、営業費用は、トルコリラの下落の影響によりさらに低い水準⁴でした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² プライベートバンキングの3分の2を含む

³ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

⁴ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号の適用により、為替レート変動による影響を含む。



営業総利益¹は、当四半期において259百万ユーロに達し、前年同期比27.5%増²の大幅な増益でした。

リスク費用¹は、当四半期において56百万ユーロでした（前年同期は47百万ユーロ）。リスク費用は、62ベースポイントと低水準でしたが、これは、極めて低い水準の不良債権に対するリスク費用および正常債権（ステージ1および2）に対する引当金（当四半期におけるポーランドに対する一時的引当金80百万ユーロを含む）に起因していました。

以上から、プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益³は、当四半期において232百万ユーロに達しましたが、前年同期比9.6%減²でした。前年同期におけるポーランドの一時的引当金を除けば、税引前利益³は、312百万ユーロとなり、23.6%増²の大幅な増益となっていました。

2023年度上半期において、営業収益¹は、1,251百万ユーロとなり、前年同期比9.2%増²でした。これは、特にポーランドにおいて、正味利息収益が大幅に増加したことにより起きているものの、トルコリラの下落の影響により一部相殺されました。営業費用¹は、780百万ユーロとなり、拠出金の一時的増加により高水準であった前年同期比では1.8%減²でした。営業総利益¹は、前年同期比110百万ユーロ増加し、471百万ユーロとなりました。リスク費用¹は、当上半期において105百万ユーロに増加し（前年同期は87百万ユーロ）、顧客向け融資残高の58ベースポイント相当となりました。当上半期において、リスク費用には、ポーランドに対するリスク費用引当金130百万ユーロの一時的影響が含まれていました。以上から、トルコおよびポーランドの国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後の欧州・地中海沿岸諸国の税引前利益³は、513百万ユーロに達し、リスク費用の増加の影響、関連会社による寄与の減少およびトルコのハイパーインフレ⁴の影響（当上半期の税引前利益において-63百万ユーロ）にもかかわらず、前年同期比10.5%増²と大幅に増加しました。

専門的金融事業—パーソナル・ファイナンス

パーソナル・ファイナンスは、事業の転換を実施しています。業務の地理的な重点地域の転換およびオペレーティングモデルの再編成は順調に進んでいます。パートナーシップが構築され、自動車ローン取扱高の増加およびリスクプロファイルの構造的改善に貢献しています。融資残高は、モビリティ部門の堅調な伸びに牽引され、前年同期比12.4%増加しました。組成時の利鞘には引き続き圧力がかかっていますが、前四半期比で増加しました。

営業収益は、当四半期において1,327百万ユーロとなり、前年同期比3.2%減（連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除くと-1.9%）でした。これは、取引高は増加したものの、利鞘が減少したことにより起きているものです。しかしながら、営業収益は利鞘および取引高の改善により、前四半期比では3.0%増でした。

営業費用は、目標を絞ったプロジェクトに関連して、当四半期において733百万ユーロとなり、前年同期比2.1%増でした。

営業総利益は、当四半期において593百万ユーロとなり、前年同期比9.1%減でした。

リスク費用は、当四半期において363百万ユーロ（前年同期は309百万ユーロ）となり、正常債権（ステージ1および2）に対する引当金の緩やかな戻入がありました。リスク費用は、顧客向け融資残高の145ベースポイント相当で、前四半期比で横ばいでした。

¹ プライベートバンキングの100%を含む

² 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く。ただし、トルコについてはIAS第29号の適用により、為替レート変動による影響を含む。

³ プライベートバンキングの3分の2を含む

⁴ トルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジの効果による影響



以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当四半期に290百万ユーロに上り、前年同期比20.4%減でした。当四半期において、パーソナル・ファイナンスの税引前利益には「その他の営業外項目」内の非経常的項目のプラスの影響が含まれていました。

2023年度上半期において、営業収益は、取引高増加による効果があったものの、利鞘への圧力の影響があったため、2,615百万ユーロとなり、前年同期比4.7%減¹でした。営業費用は、目標を絞ったプロジェクトに伴って1,544百万ユーロとなり、前年同期比3.7%増¹でした。営業総利益は、前年同期比14.6%減¹で、1,071百万ユーロとなりました。リスク費用は、721百万ユーロ（前年同期は624百万ユーロ）となり、顧客向け融資残高の145ベースポイント相当でした。以上から、パーソナル・ファイナンスの税引前利益は、当上半期に412百万ユーロに上り、前年同期比38.7%減¹でした。これは、営業総利益の減少およびリスク費用の前年同期の低水準からの増加によるものでした。2023年度第2四半期において、パーソナル・ファイナンスの税引前利益には「その他の営業外項目」内の非経常的項目のプラスの影響が含まれていました。

専門的金融事業—アルバルとリーシング・ソリューションズ

アルバルとリーシング・ソリューションズの業績は、当四半期も極めて好調で、ジョーズ効果はプラスでした。

アルバルのファイナンスフリートの契約台数は1.6百万台²に上り、2022年度上半期比9.5%増³でした。中古車価格は、依然として高水準で推移しています。

リーシング・ソリューションズのファイナンスリース残高は、当四半期において23.5十億ユーロで、前年同期比6.3%増¹でした。エネルギー転換において、新たなパートナーシップが構築されました。特にテクノロジーとライフサイクル・ソリューションズの部門において、事業活動が順調に推移しました。

アルバルとリーシング・ソリューションズの営業収益は、当四半期において1,046百万ユーロとなり、前年同期比17.1%増の大幅な増収でした。中古車価格が引き続き高水準であったことによりアルバルの業績が持続的に非常に好調であったことに加え、リーシング・ソリューションズの回復力が良好であったことが寄与しました。

営業費用は、当四半期において358百万ユーロとなり、前年同期比5.0%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+12.1ポイント）でした。

営業総利益は、当四半期において688百万ユーロとなり、前年同期比24.5%増の大幅な増益でした。

以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、当四半期において658百万ユーロとなり、前年同期比25.4%増の大幅な増益でした。

2023年度上半期において、営業収益は、2,028百万ユーロとなり、前年同期比18.9%増の大幅な増益でした。これは、アルバルの極めて好調な業績およびリーシング・ソリューションズの堅調な営業収益が牽引しました。営業費用は、761百万ユーロとなり、前年同期比7.6%増でした。ジョーズ効果は極めて高水準（+11.3ポイント）でした。以上から、アルバルとリーシング・ソリューションズの税引前利益は、当上半期に1,175百万ユーロに達し、前年同期比21.8%増の大幅な増益でした。これには、トルコのハイパーインフレ⁴の影響により「その他の営業外項目」に生じた影響が含まれています。

¹ 連結範囲の変更および為替レート変動による影響を除く

² 期末におけるフリート契約台数

³ Terberg Business LeaseおよびBCRの買収による影響を除くと+6.7%

⁴ トルコにおけるIAS第29号の適用およびヘッジ効率の影響



専門的金融事業－ニューデジタル事業と個人投資家事業

ニューデジタル事業と個人投資家事業の業績は、非常に好調で、新規顧客獲得の原動力となっています。

Nickelは、ドイツでのローンチを皮切りに欧州で展開を続け、口座開設は引き続き非常に好調なペースで進んでいます。2023年6月30日現在の口座開設数は約3.4百万¹に上り、2022年6月30日現在と比較して25.1%増となりました。

2023年6月30日現在、Floaの顧客は3.8百万人となりました。積極的なパートナーシップの数を1年²で倍増させ、国際的に促進しました。Floaのローン組成は好調で、融資基準は厳格化しました。

最後に、個人投資家事業では、運用資産残高が2022年6月30日現在と比較して10.0%増と大幅に増加しました。その要因は、顧客数が2022年6月30日現在と比較して5.7%増加したこと、および金融市場の上昇でした。

ニューデジタル事業と個人投資家事業の営業収益³は、当四半期において252百万ユーロとなり、前年同期比16.2%増の大幅な増収でした。増収要因は、事業開発によりニューデジタル事業において増加したこと、および金利環境により個人投資家事業の営業収益が増加したことでした。

営業費用³は、当四半期において160百万ユーロとなり、前年同期比15.1%増でした。その要因は、ニューデジタル事業の事業開発戦略でした。ジョーズ効果はプラス(+1.1ポイント)でした。

営業総利益³は、当四半期において91百万ユーロとなり、前年同期比18.2%増の大幅な増益でした。

リスク費用³は、当四半期において30百万ユーロ（前年同期は23百万ユーロ）でした。

以上から、ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益⁴は、当四半期において59百万ユーロとなり、前年同期比12.2%増の大幅な増益でした。

2023年度上半期において、営業収益³は、ニューデジタル事業と個人投資家事業の非常に堅調な増収に牽引され、495百万ユーロとなり、前年同期比17.3%増の大幅な増収でした。営業費用³は、事業開発戦略により324百万ユーロとなり、前年同期比19.4%増でした。営業総利益³は、171百万ユーロとなり、前年同期比13.4%増の大幅な増益でした。リスク費用³は、52百万ユーロ（前年同期は35百万ユーロ）でした。ドイツ国内プライベートバンキング業務の純利益の3分の1をウェルス・マネジメント事業（IPS部門）へ配分した後のニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益⁴は、当上半期において112百万ユーロとなり、前年同期比2.1%増でした。

*
* *

¹ すべての国の合計（設立来）

² 2022年5月から2023年5月までの間

³ ドイツ国内プライベートバンキングの100%を含む

⁴ ドイツ国内プライベートバンキングの3分の2を含む



インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門

IPS部門の事業活動は、資金純流入により支えられ、対照的な環境にもかかわらず、全体的に好調でした。とりわけウェルス・マネジメント事業およびアセット・マネジメント事業において資金流入が好調でした（当四半期は+6.8十億ユーロ¹）。保険事業も非常に好調で、貯蓄型保険業務および保障保険業務に支えられ、保険引受利益は向上しました。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツにおいては、あまり有利な事業環境ではありませんでした。

IPS部門の営業収益は、当四半期において1,430百万ユーロとなり、前年同期比0.3%増でした。これは、保険事業（+8.7%）およびウェルス・マネジメント事業（+6.6%）の堅調な営業収益の伸びに牽引されました。営業収益は、アセット・マネジメント事業では増加しましたが、前年同期が高水準であったこと、および低調な事業環境により、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツでは大幅に減少しました。

営業費用は、営業費用の適切な管理とコスト節減策の効果により、当四半期において879百万ユーロとなり、前年同期比2.0%増でした。

営業総利益は、当四半期において551百万ユーロとなり、前年同期比2.3%減でした。

以上から、IPS部門の税引前利益は、当四半期において607百万ユーロとなり、前年同期比1.5%減でした。前年同期の「その他の営業外項目」は高水準でした。

2023年度上半期において、営業収益は、前年同期比0.5%増で、ウェルス・マネジメント事業および保険事業の営業収益の増加に牽引されました。これは、ベース効果および低調な事業環境により、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツ事業の営業収益が大幅に減少したことを反映しています。アセット・マネジメント事業の営業収益は持ちこたえました。営業費用は、当上半期に1,776百万ユーロとなり、前年同期比3.7%増でしたが、増加は主にコスト節減策により抑制されました。営業総利益は、1,063百万ユーロとなり、前年同期比4.5%減でした。IPS部門の税引前利益は、1,186百万ユーロとなり、前年同期比4.3%減でした。これは、関連会社による拠出金の増加を反映しています。前年同期は、保険事業における売却による譲渡益およびアセット・マネジメント事業における合弁事業の設立の影響を反映していました。

2023年6月30日現在、運用資産残高²は、1,218十億ユーロでした。これは、+34.0十億ユーロの市場動向の影響および+23.4十億ユーロの非常に好調な資金純流入の効果を反映していますが、-8.7十億ユーロの不利な為替の影響により一部相殺されました。非常に好調な資金純流入は、主にアセット・マネジメント事業のマネー・マーケット・ファンドへの流入およびウェルス・マネジメント事業への非常に好調な資金流入により牽引されました。運用資産残高²は、2022年6月30日現在と比較して3.3%増加しました。

2023年6月30日現在、運用資産残高²の内訳は、アセット・マネジメント事業および不動産管理事業の558十億ユーロ、ウェルス・マネジメント事業の410十億ユーロならびに保険事業の250十億ユーロでした。

保険事業の当四半期の純利益は大幅に増加しました。貯蓄型保険業務は、当上半期に11.7十億ユーロの総資金流入を達成し、ユニットリンク商品への資金流入に支えられ、フランスの資金純流入はプラスとなりました。保障保険業務は、フランスのアフィニティ保険および損害保険において引き続き好調でした。国際的には、特にラテンアメリカで事業活動が改善しました。

¹ スペインのポートフォリオ売却の影響を除く

² 分配金を含む



なお、IFRS第17号「保険契約」は、2023年1月1日からIFRS第4号「保険契約」に代わって施行されました。IFRS第17号は、保険事業に関するIFRS第9号と同時に施行されました。

当四半期において、保険事業の営業収益は、前年同期比8.7%増の557百万ユーロとなりました。これは、貯蓄型保険業務および保障保険業務の好調な営業収益に牽引され、保険引受利益は向上しました。

保険事業の営業費用は、当四半期において、事業開発および目標を絞ったプロジェクトの支援のため、前年同期比1.4%増の203百万ユーロとなりました。ジョーズ効果はプラスでした。

保険事業の税引前利益は、当四半期において400百万ユーロとなり、前年同期比13.7%増の大幅な増益でした。当四半期において、かかる増益には関連会社による拠出金の増加が含まれています。前年同期は売却による譲渡益が含まれていました。

2023年度上半期において、営業収益は、前年同期比7.8%増の1,081百万ユーロとなりました。これは、貯蓄型保険業務の好調な業績および保障保険業務の増加に牽引され、保険引受利益は向上しました。営業費用は、前年同期比2.0%増の405百万ユーロとなり、進行中の目標を絞ったプロジェクトにより牽引されました。保険事業の税引前利益は、当上半期において781百万ユーロとなり、前年同期比16.4%増の大幅な増益でした。これには、特にラテンアメリカおよび欧州における関連会社による拠出金の増加が含まれています。

当四半期において、ウェルス&アセット・マネジメント事業¹への資金流入は、対照的な環境下でも良好で、ウェルス&アセット・マネジメント事業は好調に推移しました。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの業績は、ベース効果および低調な事業環境の影響を受けました。ウェルス・マネジメント事業は、特にコマーシャルバンキング事業および個人向けバンキング事業ならびに国際的な富裕層を中心とした、好調な資金純流入（5.9十億ユーロ²）により改善しました。ウェルス・マネジメント事業の営業収益の堅調な増加は、利鞘が持ちこたえ、預金残高が伸びたこと（前年同期比+1.9%増）に支えられました。

アセット・マネジメント事業への好調な資金流入（+0.9十億ユーロ）は、マネー・マーケット・ファンドの伸びに牽引されました。資金流入および業績管理に牽引され、営業収益は増加しました。

不動産管理事業は、プロパティ・マネジメント業務において好調でしたが、取引事業および開発事業は大幅に減速しました。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業収益は、当四半期において873百万ユーロとなり、前年同期比4.5%減でした。ウェルス・マネジメント事業の営業収益は、正味利息収益の伸びに支えられ、大幅な増加を達成しました（+6.6%）。アセット・マネジメント事業の営業収益の増加は、不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの営業収益の大幅な減少により相殺されました。

ウェルス&アセット・マネジメント事業の営業費用は、当四半期において675百万ユーロとなり、前年同期比2.2%増でしたが、コスト節減策により抑制されました。

以上から、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、当四半期において207百万ユーロとなり、前年同期比21.7%減でした。関連会社からの拠出金は、高水準であった前年同期より減少しました。

¹ ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメンツ

² スペインのポートフォリオ売却の影響を除く



2023年度上半期において、営業収益は、前年同期比3.6%減の1,758百万ユーロとなり、ウェルス・マネジメント事業の非常に好調な業績に支えられました。不動産管理事業およびプリンシパル・インベストメンツの営業収益は大幅に減少しましたが、アセット・マネジメント事業では持ちこたえました。営業費用は、目標を絞ったプロジェクトの伸びにより、当上半期において1,371百万ユーロとなり、前年同期比4.2%増でした。営業費用の増加は、コスト節減策により抑制されました。これらを受けて、ウェルス&アセット・マネジメント事業の税引前利益は、当上半期に405百万ユーロとなり、前年同期比28.7%減でした。これは、2022年度第1四半期のアセット・マネジメント事業における合弁事業の設立に関連する売却による譲渡益の影響を含み、高水準であった前年同期と比較したものです。

*

* *



コーポレート・センター

IFRS第17号「保険契約」は、2023年1月1日からIFRS第4号「保険契約」を置き換えました。IFRS第17号は、保険事業に関するIFRS第9号の施行と同時に効力が発生しました。

主な効果は以下のとおりです。

- 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されません。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループの事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ適用され、営業総利益には影響を与えません。内部の販売会社に対するこれらの項目の影響は、業績の読み方を混乱させないためにコーポレート・センターにおいて示されています。
- 一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティの影響は、コーポレート・センターにおいて示されるため、保険事業の営業収益に影響はありません。

2023年1月1日現在、コーポレート・センターには修正再表示が含まれており、より読みやすくするために各四半期に個別に報告されます。

コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、当四半期において**-305**百万ユーロとなりました（前年同期は**-359**百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による影響額として**-271**百万ユーロ（前年同期は**-252**百万ユーロ）および資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティによる影響額として**-33**百万ユーロ（前年同期は**-108**百万ユーロ）が含まれています。

コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、当四半期において**-271**百万ユーロとなりました（前年同期は**-252**百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による**-271**百万ユーロ（前年同期は**-252**百万ユーロ）が含まれています。

以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、当四半期において**-33**百万ユーロ（前年同期は**-108**百万ユーロ）となりました。

2023年度上半期において、コーポレート・センターにおける保険事業に関連する修正再表示による営業収益は、**-570**百万ユーロとなりました（前年同期は**-776**百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による影響額として**-521**百万ユーロ（前年同期は**-510**百万ユーロ）および資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティによる影響額として**-49**百万ユーロ（前年同期は**-266**百万ユーロ）が含まれています。コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による営業費用は、当上半期において**-521**百万ユーロとなりました（前年同期は**-510**百万ユーロ）。これには、内部の販売会社の「帰属」営業費用の修正再表示による**-521**百万ユーロ（前年同期は**-510**百万ユーロ）が含まれています。以上から、コーポレート・センターの保険事業に関連する修正再表示による税引前利益は、当上半期において**-49**百万ユーロ（前年同期は**-266**百万ユーロ）となりました。

コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において**-361**百万ユーロとなりました（前年同期は**-43**百万ユーロ）。当四半期には、2022年度第4四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響額**-430**百万ユーロおよび訴訟引当金による一時的影響額**-125**百万ユーロが含まれています。また、当四半期には、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）による**21**百万ユーロが含まれています。営業収益は、金利および為替環境の好影響により下支えされていました。



コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において**318**百万ユーロとなりました（前年同期は**187**百万ユーロ）。当四半期において、一時項目による影響として、事業再編費用と事業適応費用が**57**百万ユーロ（前年同期は**28**百万ユーロ）およびIT強化費用が**94**百万ユーロ（前年同期は**78**百万ユーロ）含まれています。

コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において**33**百万ユーロとなりました。前年同期は**64**百万ユーロでした。

コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、当四半期において**110**百万ユーロとなりました（前年同期は**-47**百万ユーロ）。これには、当四半期における売却による譲渡益によるプラスの影響が含まれています。前年同期の営業外項目には減価償却引当金**57**百万ユーロが含まれていました。

以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、**2022**年度第**4**四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響により押し下げられ、**-603**百万ユーロ（前年同期は**-342**百万ユーロ）となりました。

2023年度上半期において、コーポレート・センターの営業収益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、**-839**百万ユーロとなりました（前年同期は**9**百万ユーロ）。当上半期には、**2022**年度第**4**四半期に欧州中央銀行が決定したTLTROの条件変更に伴うヘッジ調整による一時的影響額（**-833**百万ユーロ）および訴訟引当金による一時的影響額（**-125**百万ユーロ）が含まれています。また、デリバティブに含まれる自己勘定の信用リスク再評価（DVA）によるマイナスの影響額**32**百万ユーロも含まれています（前年同期は**+108**百万ユーロであり、マイナスの非経常的項目により相殺されました）。コーポレート・センターの営業費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、**942**百万ユーロとなりました（前年同期は**730**百万ユーロ）。これは、IFRIC第21号に基づく賦課金¹の減少および特に単一破綻処理基金への拠出金の減少を反映していました。当上半期の営業費用には、一時項目による影響として、前四半期のパーソナル・ファイナンスにおける事業適応費用全般が**236**百万ユーロ、事業再編費用と事業適応費用が**87**百万ユーロ（前年同期は**54**百万ユーロ）およびIT強化費用が**188**百万ユーロ（前年同期は**123**百万ユーロ）含まれています。コーポレート・センターのリスク費用（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、**27**百万ユーロとなりました（前年同期は**118**百万ユーロ）。コーポレート・センターのその他の営業外項目（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、**121**百万ユーロとなりました（前年同期は**-67**百万ユーロ）。その他の営業外項目には、売却による譲渡益によるプラスの影響が含まれています。前年同期のその他の営業外項目には、Ukrsibbank株式の減損および為替換算差額²の純損益への分類変更に伴うマイナス影響（**-433**百万ユーロ）が含まれていましたが、その一部はbpost bankの負ののれんから生じたプラス影響（**+244**百万ユーロ）および譲渡益（**+204**百万ユーロ）により相殺されました。以上から、コーポレート・センターの税引前利益（保険事業に関連する修正再表示を除く）は、**-1,687**百万ユーロ（前年同期は**-905**百万ユーロ）となりました。

¹ IFRIC第21号「賦課金」に基づく当年度に係る税金および拠出金（単一破綻処理基金への拠出金の見積額を含む）は、そのほぼ全額が第1四半期に計上される

² 従前、連結資本に計上



財務構造

当グループの財務構造は盤石です。

普通株式等Tier1比率は2023年6月30日現在13.6%¹で、2023年3月31日現在と比較して横ばいでした。この主因は以下の通りです。

- 2023年度第2四半期の純利益を剰余金に計上（配当性向60%とリスクアセットの自律的成長を考慮後）：+10ベースポイント
- パーソナル・ファイナンスでのパートナーシップの構築に係る影響：-10ベースポイント

他の要因が普通株式等Tier1比率に及ぼした影響は全体として限定的でした。

レバレッジ比率²は2023年6月30日現在4.5%でした。

流動性カバレッジ比率³（期末）は2023年6月30日現在143%の高水準でした（2023年3月31日現在は139%）。

即時利用可能な剰余資金⁴は、2023年6月30日現在で473十億ユーロに上りました。これは資金調達との関係で1年超の余裕資金があることを意味しています。

*
* *

¹ CRD5。IFRS経過規定を含む

² 規則（EU）2019/876に従って算定

³ 規則（CRR）575/2013第451a条に従って算定

⁴ 健全性基準（特に米国基準。日中支払システムの需要を除く。）を考慮した流動性市場資産または中央銀行の適格（相殺能力）を満たすもの



連結損益計算書

	2Q23	2Q22	2Q23 / 2Q22	1H23	1H22	1H23 / 1H22
(単位：百万ユーロ)						
グループ						
営業収益	11,363	11,536	-1.5%	23,395	23,404	-0.0%
営業費用および減価償却費	-6,889	-6,779	+1.6%	-16,080	-15,533	+3.5%
営業総利益	4,474	4,757	-5.9%	7,315	7,871	-7.1%
リスク費用	-689	-758	-9.1%	-1,331	-1,409	-5.5%
営業利益	3,785	3,999	-5.4%	5,984	6,462	-7.4%
持分法適用会社投資損益	149	227	-34.3%	327	385	-15.0%
その他の営業外項目	124	-26	n.s.	124	-22	n.s.
税引前利益	4,058	4,200	-3.4%	6,435	6,825	-5.7%
法人税	-1,078	-1,131	-4.7%	-1,869	-2,050	-8.8%
少数株主帰属純利益	-170	-112	+52.2%	-268	-207	+29.7%
非継続事業の純利益	0	136	n.s.	2,947	365	n.s.
株主帰属純利益	2,810	3,093	-9.2%	7,245	4,933	+46.9%
コストインカム率	60.6%	58.8%	+1.8 pt	68.7%	66.4%	+2.3 pt

BNPパリバの2023年度第2四半期に関わる財務情報の開示は、本プレスリリースおよびプレゼンテーションに含まれています。

2023年5月2日、BNPパリバは、2022年度の四半期の数値を修正再表示し、各四半期について（i）2023年2月1日のBank of the Westの売却に伴う、売却目的で保有する資産および負債の処分グループに関するIFRS第5号の適用、（ii）2023年1月1日付でのIFRS第17号（保険契約）の適用および保険会社に対するIFRS第9号の適用、（iii）2022年1月1日付でのトルコに対するIAS第29号（超インフレ経済下における財務報告）の適用、ならびに（iv）グローバル・マーケット事業およびベルギーのコマーシャル&個人向けバンキングにおける事業および純利益の内部振替を反映したものを公表しました。2022年度の四半期の数値は、これらの影響について2022年1月1日に発生したものと修正再表示されています。本プレスリリースに記載されている2022年度の四半期の数値は修正再表示後のものです。

法令上要求される開示情報はすべて、登録書類（universal registration document）を含めて、<http://invest.bnpparibas.com>の「Results（業績）」セクションからオンラインで入手可能であり、フランスの通貨金融法典L.451-1-2条およびフランス金融市場庁（Autorité des Marchés Financiers）の一般規則第222-1条以降の規定に従い、BNPパリバが公表しています。



2023年度第2四半期 - コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサービ ス部門 (プライベ ート・バンキング の2/3)	インベストメン ト&プロテクシ ョンサービス 部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		6,600	1,430	3,998	12,028	-665	11,363
	対前年同期比	+2.8%	+0.3%	-2.3%	+0.7%	+65.3%	-1.5%
	対前四半期比	+1.6%	+1.5%	-18.0%	-5.9%	-10.6%	-5.6%
営業費用および減価償却費		-3,689	-879	-2,275	-6,842	-47	-6,889
	対前年同期比	+0.2%	+2.0%	-1.1%	-0.0%	n.s.	+1.6%
	対前四半期比	-17.6%	-2.1%	-33.9%	-22.4%	-87.5%	-25.0%
営業総利益		2,911	551	1,723	5,186	-712	4,474
	対前年同期比	+6.4%	-2.3%	-3.9%	+1.8%	n.s.	-5.9%
	対前四半期比	+44.5%	+7.7%	+20.3%	+31.0%	-36.3%	+57.5%
リスク費用		-732	-2	78	-656	-33	-689
	対前年同期比	+19.5%	-69.0%	n.s.	-5.5%	-47.8%	-9.1%
	対前四半期比	+13.3%	+46.9%	n.s.	+1.1%	n.s.	+7.3%
営業利益		2,179	550	1,801	4,530	-745	3,785
	対前年同期比	+2.6%	-1.7%	+4.9%	+2.9%	+85.4%	-5.4%
	対前四半期比	+59.2%	+7.6%	+25.8%	+36.8%	-33.0%	+72.1%
持分法適用会社投資損益		71	58	3	132	17	149
その他の営業外項目		29	0	2	31	93	124
税引前利益		2,280	607	1,806	4,694	-636	4,058
	対前年同期比	-1.2%	-1.5%	+4.7%	+0.9%	+41.4%	-3.4%
	対前四半期比	+55.0%	+5.0%	+26.4%	+35.0%	-42.3%	+70.7%
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		6,600	1,430	3,998	12,028	-665	11,363
	前年同期	6,420	1,426	4,093	11,939	-402	11,536
	前四半期	6,494	1,409	4,873	12,776	-744	12,032
営業費用および減価償却費		-3,689	-879	-2,275	-6,842	-47	-6,889
	前年同期	-3,683	-862	-2,299	-6,843	64	-6,779
	前四半期	-4,479	-897	-3,440	-8,816	-375	-9,191
営業総利益		2,911	551	1,723	5,186	-712	4,474
	前年同期	2,737	564	1,794	5,095	-338	4,757
	前四半期	2,015	512	1,433	3,959	-1,118	2,841
リスク費用		-732	-2	78	-656	-33	-689
	前年同期	-613	-5	-76	-694	-64	-758
	前四半期	-646	-1	-1	-648	6	-642
営業利益		2,179	550	1,801	4,530	-745	3,785
	前年同期	2,124	559	1,717	4,401	-402	3,999
	前四半期	1,369	511	1,432	3,311	-1,112	2,199
持分法適用会社投資損益		71	58	3	132	17	149
	前年同期	157	41	9	208	19	227
	前四半期	95	68	3	166	12	178
その他の営業外項目		29	0	2	31	93	124
	前年同期	26	16	-1	41	-66	-26
	前四半期	8	0	-6	1	-1	0
税引前利益		2,280	607	1,806	4,694	-636	4,058
	前年同期	2,307	617	1,726	4,649	-449	4,200
	前四半期	1,471	578	1,428	3,478	-1,101	2,377
法人税							-1,078
少数株主帰属純利益							-170
非継続事業の純利益							0
株主帰属純利益							2,810



2023年度上半期 - コア事業別業績

		コマーシャル& 個人向け バンキングサービ ス部門 (プライベ ート・バンキング の2/3)	インベストメン ト&プロテクシ ョンサービス 部門	ホールセール バンキング 部門	事業部門合計	コーポレート ・センター	グループ 合計
(単位: 百万ユーロ)							
営業収益		13,094	2,839	8,871	24,804	-1,409	23,395
	対前年同期比	+4.2%	+0.5%	+1.1%	+2.6%	+83.7%	-0.0%
営業費用および減価償却費		-8,168	-1,776	-5,715	-15,659	-421	-16,080
	対前年同期比	+2.6%	+3.7%	+1.4%	+2.2%	+92.3%	+3.5%
営業総利益		4,927	1,063	3,156	9,145	-1,830	7,315
	対前年同期比	+7.0%	-4.5%	+0.5%	+3.3%	+85.6%	-7.1%
リスク費用		-1,379	-3	77	-1,304	-27	-1,331
	対前年同期比	+14.8%	-77.5%	n.s.	+1.0%	-77.1%	-5.5%
営業利益		3,548	1,060	3,233	7,841	-1,857	5,984
	対前年同期比	+4.3%	-3.7%	+5.6%	+3.6%	+68.2%	-7.4%
持分法適用会社投資損益		166	126	6	298	29	327
その他の営業外項目		37	0	-5	32	92	124
税引前利益		3,751	1,186	3,235	8,171	-1,736	6,435
	対前年同期比	+1.9%	-4.3%	+5.1%	+2.2%	+48.3%	-5.7%
法人税							-1,869
少数株主帰属純利益							-268
非継続事業の純利益							0
株主帰属純利益							7,245



連結四半期業績の推移

(単位: 百万ユーロ)	分配可能						
	2Q23	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グループ							
営業収益	11,808	11,363	12,032	10,885	11,141	11,536	11,868
営業費用および減価償却費	-6,884	-6,889	-9,191	-7,471	-6,860	-6,779	-8,754
営業総利益	4,924	4,474	2,841	3,414	4,281	4,757	3,114
リスク費用	-689	-689	-642	-697	-897	-758	-651
営業利益	4,235	3,785	2,199	2,717	3,384	3,999	2,463
持分法適用会社投資損益	149	149	178	94	176	227	158
その他の営業外項目	124	124	0	-22	39	-26	4
税引前利益	4,508	4,058	2,377	2,790	3,599	4,200	2,625
法人税	-1,078	-1,078	-791	-732	-871	-1,131	-919
少数株主帰属純利益	-170	-170	-98	-102	-92	-112	-95
非継続事業を除く株主帰属純利益	3,260	2,810	1,488	1,957	2,637	2,957	1,611
非継続事業の純利益	0	0	2,947	185	136	136	229
株主帰属純利益	3,260	2,810	4,435	2,142	2,773	3,093	1,840
コスト/インカム率	58.3%	60.6%	76.4%	68.6%	61.6%	58.8%	73.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)		820.8	815.9	823.1	816.8	796.9	776.8
預金平均残高 (十億ユーロ)		773.5	784.5	794.1	789.9	770.4	752.2
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)		898.8	901.2	927.2	907.1	890.2	853.3
リスク費用 (年率、bp)		31	28	30	40	34	31



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ホールセールバンキング (CIB) 部門						
営業収益	3,998	4,873	3,842	3,783	4,093	4,685
営業費用および減価償却費	-2,275	-3,440	-2,727	-2,327	-2,299	-3,338
営業総利益	1,723	1,433	1,115	1,456	1,794	1,347
リスク費用	78	-1	-157	-90	-76	-2
営業利益	1,801	1,432	958	1,366	1,717	1,346
持分法適用会社投資損益	3	3	2	5	9	4
その他の営業外項目	2	-6	-8	-3	-1	1
税引前利益	1,806	1,428	952	1,369	1,726	1,351
コスト/インカム率	56.9%	70.6%	71.0%	61.5%	56.2%	71.2%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	29.0	28.8	29.9	29.6	28.9	27.4
リスクアセット (十億ユーロ)	243.3	244.6	244.0	266.5	260.7	256.2
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グローバル・バンキング事業						
営業収益	1,425	1,455	1,513	1,171	1,239	1,258
営業費用および減価償却費	-655	-849	-734	-654	-648	-805
営業総利益	770	605	779	518	591	453
リスク費用	85	1	-155	-116	-85	20
営業利益	855	607	624	402	505	473
持分法適用会社投資損益	1	1	1	1	1	1
その他の営業外項目	0	0	0	0	0	0
税引前利益	856	608	626	403	506	474
コスト/インカム率	46.0%	58.4%	48.5%	55.8%	52.3%	64.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	179	182	188	187	176	168
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	176	177	189	179	170	163
預金平均残高 (十億ユーロ)	209	216	219	209	198	190
リスク費用 (年率、ベースポイント)	-19	0	33	26	20	-5
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	16.5	16.5	16.5	16.4	16.0	15.2
リスクアセット (十億ユーロ)	140.6	146.1	146.3	155.5	149.0	145.3
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
グローバル・マーケット事業						
営業収益	1,913	2,764	1,651	1,980	2,191	2,814
うち FICC	1,126	1,906	1,152	1,156	1,379	1,749
うち株式・プライムサービス	787	857	499	824	812	1,065
営業費用および減価償却費	-1,116	-2,016	-1,474	-1,161	-1,152	-1,994
営業総利益	796	748	177	819	1,040	819
リスク費用	-6	-4	-3	28	8	-21
営業利益	790	744	174	847	1,048	798
持分法適用会社投資損益	0	2	1	3	8	2
その他の営業外項目	2	-7	-9	-1	-1	1
税引前利益	793	740	166	848	1,055	801
コスト/インカム率	58.4%	72.9%	89.3%	58.6%	52.6%	70.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.3	11.2	12.0	11.8	11.5	10.9
リスクアセット (十億ユーロ)	92.7	88.3	87.7	99.4	98.5	96.3
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
証券管理事業						
営業収益	661	655	679	632	663	613
営業費用および減価償却費	-504	-575	-520	-513	-499	-538
営業総利益	157	79	159	119	164	75
リスク費用	-1	1	1	-2	0	0
営業利益	156	81	160	118	164	75
持分法適用会社投資損益	1	0	-1	1	0	1
その他の営業外項目	0	0	1	-1	0	0
税引前利益	158	81	161	118	164	77
コスト/インカム率	76.2%	87.9%	76.6%	81.1%	75.3%	87.8%
預かり資産 (十億ユーロ)	12,015	11,941	11,133	10,798	11,214	11,907
管理資産 (十億ユーロ)	2,408	2,520	2,303	2,262	2,256	2,426
取引件数 (百万件)	35.0	38.6	36.9	35.5	38.3	38.6
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	1.2	1.1	1.4	1.4	1.4	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	10.0	10.2	9.9	11.6	13.2	14.6



(単位：百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門 (プライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	6,778	6,670	6,306	6,377	6,580	6,308
営業費用および減価償却費	-3,776	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	3,003	2,084	2,342	2,610	2,814	1,927
リスク費用	-733	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	2,269	1,435	1,742	1,929	2,200	1,331
持分法適用会社投資損益	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	30	8	-62	3	26	11
税引前利益	2,370	1,537	1,750	2,052	2,383	1,428
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-90	-66	-87	-65	-76	-54
コマース&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	2,280	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
コスト/インカム率						
融資平均残高 (十億ユーロ)	635	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	628	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	564	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	47	41	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	376.1	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
(単位：百万ユーロ)						
コマース&個人向けバンキングサービス部門 - P&L/C&Lを除く (プライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	6,782	6,666	6,298	6,364	6,566	6,296
営業費用および減価償却費	-3,776	-4,585	-3,964	-3,767	-3,766	-4,380
営業総利益	3,006	2,081	2,335	2,597	2,800	1,916
リスク費用	-733	-650	-600	-681	-614	-596
営業利益	2,273	1,431	1,735	1,916	2,186	1,320
持分法適用会社投資損益	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	30	8	-62	3	26	11
税引前利益	2,374	1,534	1,742	2,039	2,369	1,417
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-90	-66	-87	-65	-76	-54
コマース&個人向けバンキングサービス部門税引前利益	2,283	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
コスト/インカム率						
融資平均残高 (十億ユーロ)	635	627	627	622	612	600
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	628	629	624	620	607	593
預金平均残高 (十億ユーロ)	564	568	575	581	573	562
リスク費用 (年率、ベースポイント)	47	41	38	44	40	40
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	376.1	374.9	375.1	376.9	374.4	374.0
(単位：百万ユーロ)						
コマース&個人向けバンキングサービス部門 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	6,600	6,494	6,141	6,223	6,420	6,147
営業費用および減価償却費	-3,689	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,911	2,015	2,269	2,545	2,737	1,866
リスク費用	-732	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	2,179	1,369	1,656	1,863	2,124	1,277
持分法適用会社投資損益	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	29	8	-62	3	26	11
税引前利益	2,280	1,471	1,663	1,987	2,307	1,374
コスト/インカム率						
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	371.9	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9
(単位：百万ユーロ)						
コマース&個人向けバンキングサービス部門 - P&L/C&Lを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	6,604	6,491	6,134	6,210	6,406	6,136
営業費用および減価償却費	-3,689	-4,479	-3,872	-3,677	-3,683	-4,281
営業総利益	2,915	2,012	2,262	2,533	2,723	1,855
リスク費用	-732	-646	-613	-682	-613	-589
営業利益	2,182	1,365	1,648	1,851	2,110	1,266
持分法適用会社投資損益	71	95	69	120	157	86
その他の営業外項目	29	8	-62	3	26	11
税引前利益	2,283	1,468	1,655	1,974	2,293	1,362
コスト/インカム率						
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	43.4	43.6	41.7	41.5	41.0	39.7
リスクアセット (十億ユーロ)	371.9	370.8	370.9	372.6	370.3	369.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	4,154	4,157	3,937	3,960	4,099	3,902
うち正味利息収益	2,661	2,678	2,483	2,499	2,582	2,413
うち手数料	1,493	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-2,524	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
営業総利益	1,630	949	1,218	1,372	1,531	796
リスク費用	-307	-231	-115	-285	-234	-239
営業利益	1,323	717	1,103	1,087	1,297	557
持分法適用会社投資損益	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,362	844	1,123	1,187	1,441	625
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-89	-65	-86	-65	-75	-54
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	1,273	778	1,037	1,122	1,366	571
コスト/インカム率						
融資平均残高 (十億ユーロ)	473	475	479	476	468	459
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	501	504	501	497	485	474
預金平均残高 (十億ユーロ)	532	536	545	550	542	532
リスク費用 (年率、ベースポイント)	25	18	9	23	19	20
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	256.8	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
コスト/インカム率						
60.8%	77.2%	69.1%	65.3%	62.6%	79.6%	
コマース&個人向けバンキング事業 - PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	4,157	4,154	3,929	3,948	4,085	3,891
うち正味利息収益	2,664	2,675	2,475	2,487	2,568	2,401
うち手数料	1,493	1,479	1,454	1,461	1,517	1,490
営業費用および減価償却費	-2,524	-3,208	-2,720	-2,588	-2,568	-3,106
営業総利益	1,633	946	1,210	1,360	1,517	785
リスク費用	-307	-231	-115	-285	-234	-239
営業利益	1,326	714	1,095	1,075	1,283	546
持分法適用会社投資損益	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,366	840	1,115	1,174	1,427	613
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-89	-65	-86	-65	-75	-54
コマース&個人向けバンキング事業税引前利益	1,276	775	1,029	1,110	1,352	560
コスト/インカム率						
融資平均残高 (十億ユーロ)	473	475	479	476	468	459
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	501	504	501	497	485	474
預金平均残高 (十億ユーロ)	532	536	545	550	542	532
リスク費用 (年率、ベースポイント)	25	18	9	23	19	20
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	256.8	259.0	263.5	267.9	265.8	267.2
コスト/インカム率						
60.7%	77.2%	69.2%	65.6%	62.9%	79.8%	
コマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,979	3,984	3,775	3,809	3,941	3,744
営業費用および減価償却費	-2,439	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
営業総利益	1,540	880	1,145	1,308	1,455	735
リスク費用	-306	-228	-129	-285	-232	-231
営業利益	1,233	652	1,017	1,023	1,222	504
持分法適用会社投資損益	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,273	778	1,037	1,122	1,366	571
コスト/インカム率						
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	252.7	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コマース&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,982	3,981	3,768	3,796	3,927	3,733
営業費用および減価償却費	-2,439	-3,104	-2,630	-2,501	-2,486	-3,009
営業総利益	1,543	877	1,138	1,295	1,440	724
リスク費用	-306	-228	-129	-285	-232	-231
営業利益	1,237	649	1,009	1,010	1,208	492
持分法適用会社投資損益	64	88	75	100	133	70
その他の営業外項目	-24	39	-54	0	10	-3
税引前利益	1,276	775	1,029	1,110	1,352	560
コスト/インカム率	61.3%	78.0%	69.8%	65.9%	63.3%	80.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	30.0	30.5	29.6	29.5	29.2	28.3
リスクアセット (十億ユーロ)	252.7	254.9	259.3	263.7	261.7	263.1
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	3,550	3,509	3,403	3,354	3,479	3,317
うち正味利息収益	2,152	2,139	2,050	2,011	2,074	1,947
うち手数料	1,398	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,180	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	1,371	736	1,102	1,161	1,327	640
リスク費用	-251	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	1,120	553	997	931	1,140	442
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	1,120	555	996	936	1,171	448
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-79	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコマース&個人向けバンキング事業税引前利益	1,041	498	917	875	1,099	397
コスト/インカム率	61.4%	79.0%	67.6%	65.4%	61.9%	80.7%
融資平均残高 (十億ユーロ)	440	441	444	441	433	425
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	465	467	463	460	449	437
預金平均残高 (十億ユーロ)	492	494	502	508	501	492
リスク費用 (年率、ベースポイント)	22	16	9	20	17	18
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	210.2	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコマース&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	3,554	3,506	3,395	3,341	3,465	3,306
うち正味利息収益	2,156	2,136	2,042	1,998	2,060	1,936
うち手数料	1,398	1,371	1,353	1,343	1,405	1,370
営業費用および減価償却費	-2,180	-2,773	-2,301	-2,193	-2,152	-2,678
営業総利益	1,374	733	1,094	1,148	1,313	628
リスク費用	-251	-183	-105	-230	-187	-198
営業利益	1,123	550	989	918	1,126	430
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	1,123	552	989	923	1,157	436
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-79	-57	-80	-61	-72	-50
ユーロ圏のコマース&個人向けバンキング事業税引前利益	1,044	495	909	862	1,085	386
コスト/インカム率	61.3%	79.1%	67.8%	65.6%	62.1%	81.0%
融資平均残高 (十億ユーロ)	440	441	444	441	433	425
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	465	467	463	460	449	437
預金平均残高 (十億ユーロ)	492	494	502	508	501	492
リスク費用 (年率、ベースポイント)	22	16	9	20	17	18
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	210.2	209.5	213.0	215.8	214.0	218.8
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコマース&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,387	3,347	3,249	3,208	3,326	3,164
営業費用および減価償却費	-2,097	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	1,291	676	1,036	1,100	1,254	582
リスク費用	-250	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	1,041	496	918	870	1,068	391
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	1,041	498	917	875	1,099	397
コスト/インカム率	61.9%	79.8%	68.1%	65.7%	62.3%	81.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	206.1	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ユーロ圏のコマーシャル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	3,391	3,344	3,242	3,195	3,312	3,153
営業費用および減価償却費	-2,097	-2,671	-2,213	-2,108	-2,073	-2,583
営業総利益	1,294	673	1,029	1,087	1,240	571
リスク費用	-250	-179	-119	-230	-186	-191
営業利益	1,044	493	910	857	1,053	380
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	1	-1	5	31	6
税引前利益	1,044	495	909	862	1,085	386
コスト/インカム率	61.8%	79.9%	68.3%	66.0%	62.6%	81.9%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	24.5	24.9	24.1	24.1	24.0	23.2
リスクアセット (十億ユーロ)	206.1	205.4	208.8	211.6	209.9	214.7
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	1,712	1,673	1,670	1,669	1,728	1,613
うち正味利息収益	914	896	902	899	919	847
うち手数料	799	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,114	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
営業総利益	598	397	460	536	612	374
リスク費用	-151	-75	21	-102	-64	-93
営業利益	448	322	481	434	548	281
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	0	-1	1	25	0
税引前利益	448	322	481	434	574	282
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-45	-37	-48	-36	-42	-31
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	403	285	433	398	531	250
コスト/インカム率	65.1%	76.3%	72.4%	67.9%	64.6%	76.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	211	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	231	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	239	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	26	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	103.5	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	1,716	1,670	1,662	1,656	1,714	1,602
うち正味利息収益	917	893	894	887	905	836
うち手数料	799	777	768	769	809	766
営業費用および減価償却費	-1,114	-1,276	-1,210	-1,133	-1,117	-1,239
営業総利益	602	394	453	523	598	363
リスク費用	-151	-75	21	-102	-64	-93
営業利益	451	318	474	421	534	270
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	0	0	-1	1	25	0
税引前利益	451	318	473	422	560	270
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-45	-37	-48	-36	-42	-31
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	406	282	425	385	517	239
コスト/インカム率	64.9%	76.4%	72.8%	68.4%	65.1%	77.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	211	212	213	212	208	203
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	231	232	228	227	221	218
預金平均残高 (十億ユーロ)	239	242	247	249	244	240
リスク費用 (年率、ベースポイント)	26	13	-4	18	12	17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	103.5	102.7	103.4	105.2	102.8	103.2
PEL/CELに係る引当金に関する留意事項: 当該引当金は、フランスのコマーシャル&個人向けバンキング (CPBF) 事業収益において計上されているが、住宅貯蓄制度 (Plans Epargne Logement: PEL) および住宅貯蓄口座 (Comptes Epargne Logement: CEL) から全存続期間にわたり生じるリスクを考慮している。						
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
PEL/CELの影響 (フランスのプライベートバンキングの100%)						
	-3	3	8	13	14	11
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	1,627	1,587	1,592	1,592	1,647	1,531
営業費用および減価償却費	-1,074	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
営業総利益	553	357	426	500	569	336
リスク費用	-150	-72	8	-103	-64	-86
営業利益	403	285	434	397	505	250
営業外項目	0	0	-1	1	26	0
税引前利益	403	285	433	398	531	250
コスト/インカム率	66.0%	77.5%	73.2%	68.6%	65.4%	78.0%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	100.7	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
フランスのコマーシャル&個人向けバンキング事業-PEL/CELを除く (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	1,630	1,584	1,584	1,579	1,633	1,520
営業費用および減価償却費	-1,074	-1,230	-1,166	-1,092	-1,078	-1,195
営業総利益	556	354	418	487	555	325
リスク費用	-150	-72	8	-103	-64	-86
営業利益	406	282	426	385	491	239
営業外項目	0	0	-1	1	26	0
税引前利益	406	282	425	385	517	239
コスト/インカム率	65.9%	77.6%	73.6%	69.1%	66.0%	78.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	11.5	11.5	11.3	11.1	11.0	10.6
リスクアセット (十億ユーロ)	100.7	99.8	100.5	102.3	100.0	100.4
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
BNLバンカ・コメルシアレ (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	687	675	656	652	671	654
うち正味利息収益	411	392	369	382	387	380
うち手数料	276	284	286	271	284	274
営業費用および減価償却費	-428	-464	-426	-440	-416	-454
営業総利益	259	211	230	213	255	201
リスク費用	-80	-98	-114	-114	-110	-128
営業利益	179	113	116	99	146	73
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	-3	0	0	0	2	0
税引前利益	176	113	116	99	148	73
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-5	-7	-5	-4	-8	-8
BNLバンカ・コメルシアレの税引前利益	171	106	111	95	139	65
コスト/インカム率	62.3%	68.7%	64.9%	67.4%	62.0%	69.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	76	77	79	79	78	79
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	79	80	80	80	79	82
預金平均残高 (十億ユーロ)	65	63	64	65	65	63
リスク費用 (年率、ベースポイント)	41	49	57	57	55	63
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	45.1	46.4	47.6	48.7	49.3	49.8
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
BNLバンカ・コメルシアレ (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	667	654	635	631	649	633
営業費用および減価償却費	-413	-450	-411	-423	-403	-440
営業総利益	255	204	224	208	246	193
リスク費用	-80	-98	-114	-114	-109	-128
営業利益	174	106	110	95	138	65
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	-3	0	0	0	2	0
税引前利益	171	106	111	95	139	65
コスト/インカム率	61.9%	68.8%	64.7%	67.0%	62.0%	69.5%
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	5.9	5.9	6.0	6.0	6.0	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	44.7	46.0	47.1	48.2	48.8	49.3
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む) ¹						
営業収益	1,006	1,016	947	917	965	935
うち正味利息収益	706	731	673	636	677	632
うち手数料	300	285	274	281	288	303
営業費用および減価償却費	-568	-945	-598	-558	-554	-905
営業総利益	438	70	348	359	412	30
リスク費用	-19	-8	-20	-17	-16	17
営業利益	418	62	328	342	396	47
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	3	1	-1	3	3	4
税引前利益	422	64	327	345	399	52
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-28	-12	-25	-19	-20	-10
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	394	52	303	326	379	42
コスト/インカム率	56.5%	93.1%	63.2%	60.9%	57.3%	96.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	139	138	138	137	134	131
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	142	142	141	140	136	125
預金平均残高 (十億ユーロ)	161	160	161	162	162	161
リスク費用 (年率、ベースポイント)	5	2	6	5	5	-6
配賦資本 (十億ユーロ、年初来; プライベートバンキングの2/3を含む)	6.3	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	54.4	53.2	54.5	54.2	54.2	58.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ベルギーのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	952	964	896	871	920	890
営業費用および減価償却費	-543	-906	-571	-532	-529	-870
営業総利益	410	58	324	339	392	20
リスク費用	-19	-8	-21	-17	-16	18
営業利益	391	51	303	323	376	38
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	1	0
その他の営業外項目	3	1	-1	3	3	4
税引前利益	394	52	303	326	379	42
コスト/インカム率	57.0%	94.0%	63.8%	61.1%	57.4%	97.8%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	6.3	6.7	6.1	6.1	6.2	5.9
リスクアセット (十億ユーロ)	53.6	52.4	53.9	53.4	53.5	57.6
(単位: 百万ユーロ)						
ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	145	145	130	116	114	115
うち正味利息収益	122	120	105	94	90	88
うち手数料	23	25	25	22	24	27
営業費用および減価償却費	-69	-88	-67	-62	-66	-80
営業総利益	75	58	63	54	48	35
リスク費用	-1	-1	9	3	3	5
営業利益	75	56	72	56	51	40
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	1	0	2
税引前利益	75	57	72	58	51	42
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-2	-2	-2	-1	-2	-2
コマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益	73	55	70	56	49	40
コスト/インカム率	47.8%	60.3%	51.3%	53.8%	57.8%	69.8%
融資平均残高 (十億ユーロ)	13	13	13	13	13	13
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	13	14	13	13	13	13
預金平均残高 (十億ユーロ)	28	29	30	31	30	29
リスク費用 (年率、ベースポイント)	2	4	-25	-8	-9	-17
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット (十億ユーロ)	7.2	7.3	7.4	7.8	7.6	7.5
(単位: 百万ユーロ)						
ルクセンブルクのコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む)						
営業収益	141	142	127	113	110	111
営業費用および減価償却費	-67	-86	-65	-61	-64	-78
営業総利益	74	56	62	52	46	33
リスク費用	-1	-1	8	3	3	5
営業利益	73	54	70	55	49	38
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	0	1	0	2
税引前利益	73	55	70	56	49	40
コスト/インカム率	47.7%	60.5%	51.3%	53.7%	57.9%	70.4%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8	0.8
リスクアセット (十億ユーロ)	7.0	7.1	7.3	7.7	7.5	7.4
(単位: 百万ユーロ)						
他の国々のコマーシャル&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの100%を含む)¹ - 欧州・地中海沿岸諸国						
営業収益	603	648	534	607	620	585
うち正味利息収益	509	540	433	488	508	465
うち手数料	95	108	101	118	112	120
営業費用および減価償却費	-344	-435	-419	-395	-416	-428
営業総利益	259	212	115	212	204	156
リスク費用	-56	-49	-10	-55	-47	-41
営業利益	203	164	105	156	158	116
持分法適用会社投資損益	64	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	-24	37	-53	-5	-20	-9
税引前利益	242	288	126	251	270	177
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-10	-8	-6	-3	-3	-3
他の国々のコマーシャル&個人向けバンキング事業税引前利益 - 欧州・地中海沿岸諸国	232	280	120	248	267	174
コスト/インカム率	57.1%	67.2%	78.4%	65.1%	67.0%	73.3%
融資平均残高 (十億ユーロ)	32	34	35	35	35	34
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	36	37	38	38	37	37
預金平均残高 (十億ユーロ)	40	42	43	43	41	40
リスク費用 (年率、ベースポイント)	62	53	11	58	51	45
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	5.5	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ、年初末)	46.6	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
他の国々のコマmercial&個人向けバンキング事業 (プライベートバンキングの2/3を含む) - 欧州・地中海沿岸諸国						
営業収益	591	638	526	601	615	580
営業費用および減価償却費	-342	-433	-417	-393	-414	-427
営業総利益	249	204	109	208	201	153
リスク費用	-56	-49	-10	-55	-46	-41
営業利益	193	156	99	153	155	112
持分法適用会社投資損益	64	87	74	100	132	70
その他の営業外項目	-24	37	-53	-5	-20	-9
税引前利益	232	280	120	248	267	174
コスト/インカム率	57.9%	67.9%	79.2%	65.4%	67.3%	73.6%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	5.5	5.6	5.5	5.4	5.2	5.1
リスクアセット (十億ユーロ)	46.6	49.5	50.5	52.0	51.8	48.4
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
専門的金融事業 (パーソナル・ファイナンス、アルバルとリーシング・ソリューションズ、ニューデジタル事業と個人投資家事業-プライベートバンキングの100%を含む)¹						
営業収益	2,625	2,512	2,369	2,416	2,481	2,405
営業費用および減価償却費	-1,252	-1,377	-1,244	-1,179	-1,198	-1,274
営業総利益	1,373	1,136	1,125	1,238	1,283	1,131
リスク費用	-426	-418	-485	-396	-380	-357
営業利益	947	717	640	841	902	774
持分法適用会社投資損益	7	7	-5	21	24	16
その他の営業外項目	54	-31	-8	3	15	13
税引前利益	1,008	693	627	865	942	804
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	-1	0	0	-1
専門的金融事業税引前利益	1,007	692	626	865	941	803
コスト/インカム率	47.7%	54.8%	52.5%	48.8%	48.3%	53.0%
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	127	125	123	123	121	118
リスク費用 (年率、ベースポイント)	134	134	157	129	125	121
配賦資本 (十億ユーロ、年初末; プライベートバンキングの2/3を含む)	13.4	13.1	12.1	12.0	11.8	11.4
リスクアセット (十億ユーロ)	119.3	115.9	111.6	109.0	108.6	106.8
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
パーソナル・ファイナンス						
営業収益	1,327	1,288	1,283	1,345	1,371	1,388
営業費用および減価償却費	-733	-810	-739	-689	-718	-776
営業総利益	593	477	544	656	653	613
リスク費用	-363	-358	-413	-336	-309	-315
営業利益	230	120	131	320	344	297
持分法適用会社投資損益	10	9	-5	22	26	14
その他の営業外項目	50	-7	-15	-2	-6	-7
税引前利益	290	122	111	340	365	305
コスト/インカム率	55.3%	62.9%	57.6%	51.2%	52.4%	55.9%
融資平均残高 (十億ユーロ)	105	97	96	94	94	93
融資期初残高 (十億ユーロ、リスク費用算定に使用)	100	98	97	97	96	94
リスク費用 (年率、ベースポイント)	145	145	170	139	129	134
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	8.8	8.6	8.1	8.1	8.0	7.7
リスクアセット (十億ユーロ)	82.7	77.7	74.8	73.0	73.1	72.4
(単位: 百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
アルバルとリーシング・ソリューションズ						
営業収益	1,046	982	858	874	893	812
営業費用および減価償却費	-358	-403	-347	-341	-341	-366
営業総利益	688	579	511	534	553	446
リスク費用	-33	-38	-30	-38	-49	-30
営業利益	655	541	482	496	504	416
持分法適用会社投資損益	0	0	2	1	1	4
その他の営業外項目	3	-24	7	5	20	20
税引前利益	658	517	491	502	525	440
コスト/インカム率	34.2%	41.0%	40.4%	39.0%	38.2%	45.1%
配賦資本 (十億ユーロ、年初末)	3.8	3.7	3.5	3.4	3.3	3.3
リスクアセット (十億ユーロ)	32.0	33.5	32.0	31.2	30.7	29.5
合計契約残高 (十億ユーロ)	55	53	51	49	49	48
ファイナンスフリート契約台数 (千台)	1,643	1,614	1,592	1,520	1,501	1,484

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位：百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ニューデジタル事業と個人投資家事業（プライベートバンキングの100%を含む）¹						
営業収益	252	243	228	197	217	205
営業費用および減価償却費	-160	-164	-158	-149	-139	-132
営業総利益	91	79	70	48	77	73
リスク費用	-30	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	62	57	28	25	54	61
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0
税引前利益	60	55	25	23	53	58
ウェルス&アセット・マネジメントに配分される利益	-1	-1	-1	0	0	-1
ニューデジタル事業と個人投資家事業の税引前利益	59	54	25	22	52	58
コスト/インカム率	63.7%	67.4%	69.4%	75.7%	64.3%	64.4%
配賦資本（十億ユーロ、年初末；プライベートバンキングの2/3を含む）	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
リスクアセット（十億ユーロ）	4.5	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9
個人投資家事業の融資平均残高（十億ユーロ）	2	2	2	2	2	1
個人投資家事業の預金平均残高（十億ユーロ）	32	32	30	31	31	30
個人投資家事業の運用資産残高（十億ユーロ）	162	157	150	150	147	162
個人投資家事業の欧州の顧客注文件数（百万件）	9.0	10.0	9.2	10.1	10.1	13.0
(単位：百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ニューデジタル事業と個人投資家事業（プライベートバンキングの2/3を含む）						
営業収益	248	240	225	195	214	203
営業費用および減価償却費	-158	-162	-156	-147	-137	-130
営業総利益	90	78	69	48	77	72
リスク費用	-30	-23	-42	-23	-23	-12
営業利益	61	56	27	25	54	60
持分法適用会社投資損益	-2	-2	-2	-2	-2	-3
その他の営業外項目	0	0	0	0	1	0
税引前利益	59	54	25	22	52	58
コスト/インカム率	63.7%	67.4%	69.4%	75.5%	64.1%	64.3%
配賦資本（十億ユーロ、年初末）	0.8	0.8	0.5	0.5	0.5	0.4
リスクアセット（十億ユーロ）	4.5	4.7	4.8	4.9	4.8	4.9

1. プライベートバンキングの営業収益から税引前利益に至る表示項目の100%を含む



(単位:百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門						
営業収益	1,430	1,409	1,529	1,458	1,426	1,400
営業費用および減価償却費	-879	-897	-956	-883	-862	-851
営業総利益	551	512	572	575	564	549
リスク費用	-2	-1	14	2	-5	-7
営業利益	550	511	586	577	559	542
持分法適用会社投資損益	58	68	61	31	41	45
その他の営業外項目	0	0	-4	41	16	35
税引前利益	607	578	643	650	617	622
コスト/インカム率	61.4%	63.7%	62.6%	60.5%	60.4%	60.8%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	1,213	1,213	1,172	1,157	1,180	1,227
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	10.4	10.6	10.0	10.0	10.0	9.9
リスクアセット (十億ユーロ)	40.1	40.6	40.6	43.2	44.7	48.7
(単位:百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
保険事業						
営業収益	557	524	500	514	512	490
営業費用および減価償却費	-203	-202	-198	-199	-201	-197
営業総利益	353	322	302	315	311	294
リスク費用	0	0	0	0	0	0
営業利益	353	322	302	315	311	294
持分法適用会社投資損益	47	59	32	20	24	29
その他の営業外項目	0	0	-2	1	17	-3
税引前利益	400	381	332	336	352	319
コスト/インカム率	36.5%	38.5%	39.5%	38.7%	39.2%	40.1%
運用資産残高 (十億ユーロ)	251	251	247	248	255	270
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	7.1	7.3	7.1	7.1	7.2	7.2
リスクアセット (十億ユーロ)	14.5	14.6	14.8	16.5	18.2	23.2
(単位:百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ウェルス&アセット・マネジメント事業						
営業収益	873	885	1,029	944	914	910
営業費用および減価償却費	-675	-695	-759	-684	-661	-655
営業総利益	198	190	270	260	253	255
リスク費用	-2	-1	14	2	-5	-7
営業利益	196	189	284	262	248	249
持分法適用会社投資損益	11	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	0	-2	40	-1	38
税引前利益	207	198	311	313	265	303
コスト/インカム率	77.3%	78.6%	73.8%	72.4%	72.3%	72.0%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	962	962	925	908	925	956
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	3.4	3.3	2.9	2.9	2.8	2.8
リスクアセット (十億ユーロ)	25.6	26.0	25.8	26.7	26.5	25.5
(単位:百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
ウェルス・マネジメント事業						
営業収益	395	409	392	379	371	370
営業費用および減価償却費	-285	-318	-317	-294	-273	-299
営業総利益	110	91	76	85	97	71
リスク費用	-1	-1	13	1	-3	-7
営業利益	109	91	89	86	94	64
持分法適用会社投資損益	0	0	0	0	0	0
その他の営業外項目	0	0	-1	40	0	0
税引前利益	109	91	87	126	94	64
コスト/インカム率	72.1%	77.7%	80.7%	77.5%	73.7%	80.8%
運用資産残高 (十億ユーロ、プライベートバンキングの100%)	406	406	393	389	394	403
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	1.3	1.3	1.4	1.4	1.3	1.3
リスクアセット (十億ユーロ)	11.3	11.8	12.0	13.1	13.3	12.3
(単位:百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
アセット・マネジメント事業 (不動産管理、IPSインベストメントを含む)						
営業収益	478	476	636	565	543	540
営業費用および減価償却費	-390	-377	-442	-390	-387	-356
営業総利益	87	98	194	175	156	184
リスク費用	0	0	1	1	-2	1
営業利益	87	98	195	176	154	185
持分法適用会社投資損益	11	9	29	11	18	16
その他の営業外項目	0	0	0	0	-1	38
税引前利益	98	107	224	187	171	239
コスト/インカム率	81.7%	79.3%	69.5%	69.0%	71.3%	65.9%
運用資産残高 (十億ユーロ)	555	555	532	519	531	553
配賦資本 (十億ユーロ、年初来)	2.0	2.0	1.5	1.5	1.5	1.5
リスクアセット (十億ユーロ)	14.3	14.2	13.8	13.6	13.2	13.2



(単位：百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポレート・センター:保険事業に関連するボラティリティの修正再表示 (IFRS第9号) および付随費用 (内部の販売会社)						
営業収益	-305	-266	-384	-280	-359	-417
ボラティリティの修正再表示 (保険事業)	-33	-16	-87	-31	-108	-158
付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	-271	-250	-296	-249	-252	-259
営業費用および減価償却費	271	250	296	249	252	259
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	0	0	0	0	0	0
付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	271	250	296	249	252	259
営業総利益	-33	-16	-87	-31	-108	-158
リスク費用						
営業利益	-33	-16	-87	-31	-108	-158
持分法適用会社投資損益						
その他の営業外項目						
税引前利益	-33	-16	-87	-31	-108	-158
<hr/>						
(単位：百万ユーロ)	2Q23	1Q23	4Q22	3Q22	2Q22	1Q22
コーポレート・センター:保険事業に関連するボラティリティの修正再表示 (IFRS第9号) および付随費用 (内部の販売会社) を除く						
営業収益	-361	-478	-244	-43	-43	52
ボラティリティの修正再表示 (保険事業)	0	0	0	0	0	0
付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	0	0	0	0	0	0
営業費用および減価償却費	-318	-624	-211	-222	-187	-542
うち事業再編、IT強化、事業適応費用	-151	-361	-188	-125	-106	-72
付随費用の修正再表示 (内部の販売会社)	0	0	0	0	0	0
営業総利益	-679	-1,102	-455	-265	-230	-490
リスク費用	-33	6	59	-126	-64	-54
営業利益	-712	-1,096	-396	-391	-294	-544
持分法適用会社投資損益	17	12	-38	19	19	23
その他の営業外項目	93	-1	51	-2	-66	-42
税引前利益	-603	-1,085	-382	-374	-342	-564



代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） – フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示

代替的業績指標	定義	使用理由
事業部門損益計算書（P/L）（各事業部門の営業収益、正味利息収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>コマーシャル&個人向けバンキングサービス部門、インベストメント&プロテクションサービス部門、ホールセールバンキング部門の損益計算書の合計 （なお、コマーシャル&個人向けバンキング事業の損益には、フランス、イタリア、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、ポーランドおよびトルコのプライベートバンキングの2/3を含む）</p> <p>BNPパリバ・グループ損益計算書 ＝事業部門＋コーポレート・センターの損益計算書の合計</p> <p>グループ全体の損益計算書との関係は「コア事業別業績」の表で開示</p> <p>コマーシャル&個人向けバンキングにおける正味利息収益は、正味受取利息（財務諸表の注記3.aに定義される）のみならずその他の収益（財務諸表の注記3.c、3.dおよび3.eに定義される）を含むが、手数料（財務諸表の注記3.bに定義される）を除く。コマーシャル&個人向けバンキングまたは保険契約を販売する専門的金融事業の損益計算書は、「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用（営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない）のIFRS第17号の適用による会計表示への影響を除く。この影響はコーポレート・センターに及ぶ。</p>	BNPパリバ・グループの本業の業績を示す指標
PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計（各事業部門の営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計）	<p>PEL/CELの影響を除く損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	PEL/CEL口座の全存続期間にわたり発生するリスクに対する引当金変動を除く、当期の損益計算書の合計を表す指標
プライベートバンキングの100%を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計	<p>プライベートバンキング全体の損益を含むコマーシャル&個人向けバンキング事業の損益計算書の合計</p> <p>グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示</p>	コマーシャル&個人向けバンキング事業の業績を示す指標であり、プライベートバンキングの業績の全部を含む（プライベートバンキングは、コマーシャル&個人向けバンキング(2/3)とウェルス・マネジメント(1/3)の共同責任のもとに置かれるが、その割合にもとづきウェルス・マネジメントに損益を配分する前の数値)
営業費用の変化（IFRIC第21号を除外後）	IFRIC第21号に基づく税金・拠出金を除いた上で、営業費用の変化を算定	IFRIC第21号に基づく税金および拠出金は、事業年度に関わるほぼ全額を上半期に計上するが、その影響を排除し、他の四半期との比較の際の混乱を避け、当事業年度の営業費用の推移をとらえる指標
コストインカム率	営業費用を営業収益で除した比率	銀行業務における業務の効率性を表す指標
リスク費用+期首顧客向け融資残高（単位：ペーシスポイント）	<p>リスク費用（単位：百万ユーロ）を期首の顧客向け融資残高で除したものの</p> <p>詳細な算定方法については、決算資料に添付された「融資残高に関わるリスク費用」で開示</p>	事業別の貸出金残高総額におけるリスクレベルの指標
不良債権カバー率	金融資産（ステージ3）の引当金と当該資産（ステージ3）の減損後残高との関係を表す指標。対象となる資産は、バランスシート上およびオフバランスシートの債権を含み、受け取った担保と相殺する。顧客向けおよび金融機関向け債権には、償却原価で測定される負債および資本を通じて公正価値で測定する有価証券を含む（保険事業を除く）。	不良債権に対する引当の状況を表す指標



代替的業績指標	定義	使用理由
一時項目を除く当グループの純利益	一時項目を除いて算定された株主帰属純利益 一時項目の詳細については、決算資料に添付された「主な一時項目」で開示	多額の非経常的項目あるいは本業の業績を反映しない項目を除外した、BNPパリバ・グループの純利益を表す指標。除外される項目の主なものに、事業再編、事業適応、IT強化および事業変革費用がある。
自己資本利益率 (ROE)	ROEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの自己資本の収益力を表す指標
有形自己資本利益率 (ROTE)	ROTEの詳細な算定方法については、決算資料に添付された「株主資本利益率」で開示	BNPパリバ・グループの有形自己資本の収益力を表す指標
保険事業の損益計算書の合計 (営業収益、営業費用、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計)	保険事業の損益計算書の合計（営業収益、営業総利益、営業利益、税引前利益の合計） (なお、コーポレート・センターに振り替えられる、一部の資産の純損益を通じた公正価値会計（IFRS第9号）により生じるボラティリティを除く。売却時に実現した損益および潜在的な長期減価償却費は、保険事業の損益計算書に含まれる。） グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	営業上の本源的業績を反映した保険事業の業績の表示（技術面および財政面）
コーポレート・センターの損益計算書の合計	2023年1月1日から、IFRS第9号が保険事業に適用されると同時にIFRS第17号（保険契約）が適用されることを受けて、「コーポレート・センター（保険事業に関連するボラティリティの修正再表示（IFRS第9号）および付随費用（内部の販売会社を含む）」の損益計算書の合計をいい、以下を含む。 <ul style="list-style-type: none"> - IFRS第9号公正価値会計に基づく一部の保険資産の認識により生じた業績のボラティリティの、コーポレート・センターの営業収益への修正再表示 - 「保険事業に帰属する」とみなされる営業費用は、営業収益から差し引いて計上され、営業費用としては計上されない。これらの会計項目は、保険契約を販売する保険事業および当グループの事業体（保険事業を除く）（すなわち内部の販売会社）にのみ関係し、営業総利益には影響を与えない。内部販売契約に関連する項目による影響は、「コーポレート・センター」に帰属する。 グループの調整後の損益計算書の合計は「連結四半期業績の推移」の表で開示	個々の事業の業績の読み方を混乱させないための、「保険事業に帰属する」営業費用が内部販売契約に及ぼす影響のコーポレート・センターへの振替



比較分析 — 連結範囲の変更および為替レート変動による影響の排除

連結範囲の変更による影響を排除するための方法は、買収、売却など、取引の形態に依る。その計算の根本的な目的は、期間比較可能性を確保することにある。

企業を買収または新設した場合、当該企業の業績は、同企業が過年度に未だ買収あるいは設立されていなかった期間に対応する分について、連結範囲の変更による影響を除く当会計年度の期間から排除する。

事業売却の場合、当該事業体の業績は、売却以降の期間に対応する過年度の四半期について対称的に排除する。

連結の会計処理方法を変更した場合、同一条件の下に調整した四半期業績に対して、2会計年度（当期および前期）の間で存在した最も低い持分比率を適用する。

為替レート変動による影響を除いた比較分析においては、前年度の四半期（比較対象となる四半期）業績を、当四半期（分析対象となる四半期）の為替レートで修正再表示する。これらの計算はすべて、会社の報告通貨を基準に行う。

注：

営業費用：従業員給与および従業員給付制度に関わる費用、その他営業費用、有形固定資産の減価償却費、無形固定資産の償却費、および不動産・機械設備を含む固定資産の減損などの総額を指す。本資料全体にわたり、「営業費用」および「費用」は特に区別することなく使われている。

事業部門：以下の3部門から成る。

- **ホールセールバンキング (CIB) 部門：**グローバル・バンキング事業、グローバル・マーケット事業、証券管理事業
- **コマーシャル&個人向けバンキングサービス (CPBS) 部門：**
 - コマーシャル&個人向けバンキング事業（フランス、ベルギー、イタリア、ルクセンブルク、欧州・地中海沿岸諸国）
 - 専門的金融事業—アルバル、リーシング・ソリューションズ、パーソナル・ファイナンス、ニューデジタル事業（Nickel、Lyf等を含む）、個人投資家事業
- **インベストメント&プロテクションサービス (IPS) 部門：**保険事業、ウェルス&アセット・マネジメント事業（ウェルス・マネジメント事業、アセット・マネジメント事業、不動産管理事業、プリンシパル・インベストメントを含む）



堅調な業績.....	3
ホールセールバンキング（CIB）部門.....	8
コマーシャル&個人向けバンキングサービス（CPBS）部門.....	11
インベストメント&プロテクションサービス（IPS）部門.....	19
コーポレート・センター.....	22
財務構造.....	24
連結損益計算書.....	25
2023年度第2四半期 - コア事業別業績	26
2023年度上半期 - コア事業別業績	27
連結四半期業績の推移.....	28
代替的業績指標（ALTERNATIVE PERFORMANCE MEASURES: APM） - フランス金融市場庁（AMF）の一般規則第223-1条に基づく開示.....	40

Investor Relations & Financial Information

Chrystelle Renaud +33 (0)1 40 14 63 58

Raphaëlle Bouvier Flory +33(0)1 42 98 45 48

Lisa Bugat +33 (0)1 42 98 23 40

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

Patrice Ménard +33 (0)1 40 14 63 58

Olivier Parenty +33 (0)1 55 77 55 29

Debt Investor Relation Officer

Didier Leblanc +33 (0)1 42 98 43 13

E-mail: investor.relations@bnpparibas.com

<https://invest.bnpparibas.com>



BNP PARIBAS

**The bank
for a changing
world**